

建設業社会貢献活動事例集

平成25年度

生活を守り
まちをささえる

建設業

一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

平成 25 年度のわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生の実現に向け、新しい経済政策が打ち出されたことにより、雇用情勢も改善し、消費は好調を維持し、円安・株高傾向が継続したことにより、経済環境は大きく好転しました。

建設業界においても永年に亘る公共事業費の削減に歯止めがかかり、大型補正予算の執行や復興事業費の伸び等により、今までになく明るい兆しが見えております。

また、東日本大震災から早や 3 年が経過し、漸く本格復興に向けての動きが活発化しつつありますが、その後も、全国各地で台風、豪雨、竜巻、豪雪等の自然災害が頻発し、多くの尊い生命・財産が失われ、早急な防災減災対策の推進と計画的な社会資本整備の重要性が明らかになっています。

建設業界の使命は、社会資本整備の維持管理を通じ、国民の生活とわが国経済の発展に寄与するとともに、災害時の応急復旧対応により国民の安全・安心を確保することにあります。長年に亘る公共投資の削減と過剰供給構造による安値受注の頻発から、建設産業は大きく疲弊し、高齢化の進展と熟年技能者の離職等から技能の承継も懸念される状況に立ち至っています。

このため、国土交通省では若者の入職・定着を促し、現場技能者の処遇改善を図るため、公共工事設計労務単価を大幅に引き上げるなど、技能労働者への適切な賃金水準の確保と社会保険加入に向けた対策を促進されており、建設業界にも、雇用・労働環境の改善など速やかな対応が求められています。

このため、本会では、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として雇用の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会から正しい理解が得られるよう、毎年 7 月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深めるため、戦略的広報活動の推進にも力を入れた事業活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成 25 年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本事例集が、地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成 26 年 3 月

一般社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 建設業の社会貢献活動について	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について	2
(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について	2
(2) 中央行事の開催について	2
(3) 功労者表彰	4
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —	6
3. 1 代表的な活動事例	6
(1) 巨大竜巻災害の復旧支援活動（茨城県建設業協会土浦支部）	6
(2) 熊本広域大水害の復旧支援活動（熊本県建設業協会阿蘇支部）	9
3. 2 協会・支部等の活動事例	12
(1) 災害復旧支援活動	13
(2) 防災支援活動	15
(3) 環境美化活動	17
(4) 社会福祉活動	19
(5) 建設業ふれあい活動	20
(6) 啓蒙活動	23
3. 3 会員企業の活動事例	26
(1) 災害復旧支援活動	27
(2) 防災支援活動	29
(3) 環境美化活動	30
(4) 環境保全活動	33
(5) 社会福祉活動	35
(6) 建設業ふれあい活動	37
(7) 啓蒙活動	39
4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動	40
参考 「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 8」	65

1. 建設業の社会貢献活動について

近年、「企業の社会的責任」(CSR)が企業評価の重要な要素となり、各企業には株主、取引先、消費者、従業員など多様なステークホルダーに対して、様々な責任を果たすことが求められ、経済的利益の追求のみでなく、法令遵守、環境、社会貢献等の幅広い分野における企業の社会的責任を重視し、企業の持続的な発展を図ることが課題となっています。

このため、本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、厳しい経営環境下においても、雇用の維持、社会資本の整備・推進、維持管理はもとより、国民の安全・安心を守るため、地震、台風、豪雨などの災害時における応急復旧活動を始め、建設業の特性を活かしたボランティア活動等に積極的に取り組んでいます。

特に、東日本大震災発生時における地域建設企業は、建設業の果たすべき社会的使命を強く認識し、昼夜を徹しての人命救助・救援活動、道路確保・啓開作業、瓦礫処理活動等に懸命に取り組みました。

そのため、国民の建設業に対する認識が変わりつつありますが、わが国の脆弱な国土と自然条件の中で、昨年も多くの自然災害が頻発し、また、近い将来、南海トラフ連動の巨大地震等の発生が懸念されている中、災害時における地域建設業の役割と責務が見直されつつあります。

しかしながら、このような地域建設業界の果たしている様々な取り組みが報道される機会も少ないことから、本会では、戦略的な広報活動の推進を重点事業に掲げ、さまざまな活動を展開しておりますが、漸く災害対応や除雪活動の取組みがマスコミにおいて報道されるケースが見られるようになりましたが、未だ十分な理解は得られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度に毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携を図りつつ、建設業界として様々な社会貢献活動に取り組み、徐々に成果が得られつつあります。

本事例集の6頁以降には、平成25年に各都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した、地域社会と連携した様々な社会貢献活動事例を記載していますので、ご参照ください。



2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について

本会では、7月の「建設業社会貢献活動推進月間」の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動について各都道府県建設業協会を通じて広く収集し、優れた活動事例については、全建表彰規程に基づき厳正な審査・選考を経て、中央行事において功労者表彰として顕彰を行っております。

平成25年度は、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で27事例、会員企業を対象とした第4条関係で32事例の計59事例が選ばれ、浅沼会長名の表彰状と記念品の額が贈呈されました。

本事例集は、本年度の中央行事において受賞された59事例の中から、当日、事例発表を行った茨城県建設業協会土浦支部つくば分会の「巨大竜巻災害の復旧支援活動」、熊本県建設業協会阿蘇支部の「熊本広域大水害の復旧支援活動」の2事例を始め、代表的な活動事例を第3条、第4条別に整理し、①災害復旧・防災支援活動、②環境美化・保全活動、③社会福祉活動、④建設業ふれあい活動等に分類し、紹介するものです。

(2) 中央行事の開催について

本会では、地域の基幹産業として、地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会からの理解・認識を醸成するため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めるとともに、月間期間中に、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするため、毎年、中央行事を開催しております。本年度は、7月25日に東京・経団連会館において、第8回目の中央行事を開催いたしました。

中央行事では、浅沼会長の代理で挨拶した本間副会長より、「地元の建設企業は災害が起きればいち早く現場にかけつけ、被害を最小限に食い止め、地域住民の安全を守っている。これは地域の地形や実情を熟知しているからこそできる活動であり、建設業の重要な役割と魅力を社会に認識してもらうためにも、地域のための社会貢献活動の地道な取り組みを今後も継続していくことが重要だ」との開会挨拶に続き、来賓である国土交通省の日原建設流通政策審議官より、「本業とは離れた部分も含めてのご尽力に深く感謝している。中央行事を含め、建設産業の活動を世の中に知ってもらうことが重要だ」との祝辞が述べられました。

続いて、本年度の優れた社会貢献活動功労者の表彰式が行われ、当日、出席された建設業協会・支部、会員企業の受賞者に、本間副会長より表彰状と記念品が伝達されました。

また、受賞者の中から、優れた事例として、①茨城県建設業協会土浦支部つくば分会、②熊本県建設業協会阿蘇支部の2事例について事例発表が行われましたが、参加

者からは、地域住民の安全・安心を守る建設業ならではの優れた社会貢献活動に大きな関心と惜しめない賛辞がおくられました。

さらに、記念講演として、中小企業向け産業支援施設「富士市産業支援センターf-Biz」でセンター長を務めている小出 宗昭先生を講師に迎え、『中小企業を元気にする“切り札”がここにある』と題する講演会を開催するとともに、記念懇親会では、小出先生、受賞者を囲み、本会正副会長並びに各都道府県建設業協会会長と国土交通省幹部、関係団体幹部等が終始和やかに歓談し、午後7時過ぎ、盛会裡に散会しました。

本会が実施した本年度の中央行事の内容は、下記のとおりです。

行事名	平成 25 年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日 時	平成 25 年 7 月 25 日 (木) 14:00~19:00
場 所	経団連会館 4 階ダイヤモンドルーム
内 容	<p>(1) 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長挨拶 (一社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 (代理・本間副会長) ・ 来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 日原 洋文 氏 <p>(2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ①規定第 3 条関係 (協会・支部等) 功労者表彰 (27 協会・支部) ②規定第 4 条関係 (会員企業) 功労者表彰 (32 社) <p>(3) 建設業社会貢献活動事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「巨大竜巻災害の復旧支援活動」=茨城県建設業協会土浦支部つくば分会 ②「熊本広域大水害の復旧支援活動」=熊本県建設業協会阿蘇支部 <p>(4) 記念講演会</p> <p>『中小企業を元気にする“切り札”がここにある』</p> <p>講師：株式会社イドム代表取締役 小出 宗昭先生</p> <p>(5) 記念懇親会</p>
参加者	約 200 名 (国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者)



(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（27 団体）及び会員企業（32 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(一社)茨城県建設業協会 土浦支部つくば分会 (一社)京都府建設業協会 宇治支部 熊本県建設業協会 熊本支部 熊本県建設業協会 菊池支部 熊本県建設業協会 阿蘇支部 (一社)大分県建設業協会 中津支部 (一社)大分県建設業協会 日田支部 (一社)大分県建設業協会 竹田支部	茨城県 京都府 熊本県 熊本県 熊本県 大分県 大分県 大分県
防災支援活動	(一社)愛知県建設業協会 会長 増永 防夫 (一社)奈良建設業協会	愛知県 奈良県
環境美化活動	(一社)茨城県建設業協会 太田支部 (一社)長野県建設業協会 須坂支部 (一社)山口県建設業協会 下関支部 (一社)藤津建設業協会	茨城県 長野県 山口県 佐賀県
社会福祉活動	(一社)茨城県建設業協会 大子支部 (一社)群馬県建設業協会 桐生支部青年経営者部会 (一社)兵庫県建設業協会 明石支部 (一社)高知県建設業協会 嶺北支部	茨城県 群馬県 兵庫県 高知県
建設業ふれあい活動	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会 (一社)長野県建設業協会 長野支部 (一社)加賀建設業協会 建築委員会 (一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	群馬県 長野県 石川県 兵庫県
啓蒙活動	(一社)空知建設業協会 岩手県建設業協会 遠野支部青年部会 (一社)神奈川県建設業協会 会長 小俣 務 (一社)神奈川県建設業協会 県央支部 (一社)奈良県建設業協会 会長 松本 良三	北海道 岩手県 神奈川県 神奈川県 奈良県

以上 27 協会・支部

○功勞者表彰受賞者 — 會員企業（規程第4條關係） —

表彰分類	受賞者（會員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	(株)南建設 (株)高陽建設 (株)内田組	青森県 滋賀県 滋賀県
防災支援活動	(株)岸本組 (株)小池組 (株)山崎塗装店	北海道 新潟県 福井県
環境美化活動	勇建設(株) (株)遊佐組 (株)福萬組 日建工業(株) 秋田瀝青建設(株) (株)佐藤工務 (株)龍崎工務店 角屋工業(株) 薩摩建設(株) 安田建設工業(株)	北海道 北海道 青森県 宮城県 秋田県 山形県 茨城県 群馬県 鹿児島県 鹿児島県
環境保全活動	国策建設(株) 徳倉建設(株) 天野産業(株)	北海道 愛知県 岡山県
社会福祉活動	宮脇土建(株) 吉川建設(株) 伊藤工業(株) (株)森開発	北海道 青森県 秋田県 長崎県
建設業ふれあい活動	(株)石橋建設 釧石工業(株) (株)渡辺工務店 東海建設(株) 中部土木(株) (株)にしけん 大坪建設(株)	北海道 北海道 静岡県 愛知県 愛知県 兵庫県 長崎県
啓蒙活動	菱中建設(株) 苫小牧本店 矢作建設工業(株)	北海道 愛知県

以上 32 社

3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 25 年度に顕彰した活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 2 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部・企業名等	活動内容
A1-01	茨城県	(一社)茨城県建設業協会 土浦支部つくば分会	巨大竜巻災害の復旧支援活動
A1-03	熊本県	熊本県建設業協会 阿蘇支部	熊本広域大水害の復旧支援活動

(1) 巨大竜巻災害の復旧支援活動 ((一社)茨城県建設業協会土浦支部つくば分会)

事例 A1-01 : 茨城県

巨大竜巻災害の復旧支援活動 ((一社)茨城県建設業協会土浦支部つくば分会)

平成 24 年 5 月 6 日、茨城県つくば市は、気温が 25℃を超える暖かさであった。しかし、上空にはマイナス 21℃の寒気が入り込んでおり、強い上昇気流で積乱雲が発達していた。こうした状況で、午後 1 時頃、つくば市西部で巨大竜巻が発生し、通過地域に甚大な被害をもたらした。この竜巻で 1 名が亡くなり、民家 1,100 戸、工場 40 棟が損壊するとともに、各地でライフラインが寸断された。

茨城県建設業協会土浦支部つくば分会は、竜巻発生の一報を受けて速やかに対応し、全会員企業が丸となって現地の復旧支援活動に当たった。

■被災地への出動

つくば分会は、つくば市及びつくばみらい市と災害協定を締結しており、緊急時の出動体制を整備している。つくば市より災害対応の緊急要請を受けた同会は、会員 92 社に連絡を取り、現地への出動を要請した。

しかし現地では、倒壊家屋や電柱、街路樹、垂れ下がった電線などが道路を塞いでおり、交通規制で渋滞も激しく、なかなか前に進めない状況であった。そこで、会員たちは復旧のための車両であることを説明し、許可を得て交通規制中の道路を進み、障害物を避けながら関係者の集合場所である被災地内の旧筑波庁舎までたどり着いた。



竜巻被害 (大穂地区)



竜巻被害 (北条地区)

同会は、旧筑波庁舎内に対策本部を設置し、市の担当者からの詳しい情報に基づき各社の担当地域を定めた。会員は各地の被災場所に向かったが、現地は古い市街で、道路幅が狭く曲折している上に、電柱が倒れ、がれきや屋根等の飛散物が散乱していたため、目的地に入るまで相当な時間を費やした。

■道路の通行確保

現地に到着し、復旧手順についてつくば市災害対策本部と協議した結果、まずは一般道路の通行確保を優先させることになった。同会は、作業班の編成を整え、道路に散在している家屋やがれきの撤去作業を開始した。倒れた電柱については、電力会社による破断電線の処理を待ってからの撤去となった。夜間は、土浦土木事務所 の応援で、サーチライトを各所に設置して作業を進めた。

200名の作業員を動員して、夜を徹して撤去作業を続けた結果、3日後の5月9日には、通行止めだった道路を全面開通させることができた。また、建柱車による電柱設置が可能となったので、その日のうちに電気も完全復旧した。



倒壊した電柱

■被災家屋の撤去・復旧

道路の復旧完了後、引き続き被災家屋の撤去・復旧作業に取り掛かった。個人所有の家屋が対象であり、建物危険度判定と市職員による事前説明、所有者の同意が必要となるため、被災地域を北条、泉・山木、大穂の3地区に分け、綿密なスケジュール調整を行いながらの作業となった。



被災した家屋

会員各社は、つくば市関係者の立会いの下、倒壊家屋の片付け、宅地に散乱しているがれきの撤去作業等を順次進めていった。一般道路、通学路に倒壊する恐れのある建物については、市の建築指導課の指示により、全て解体撤去した。

被災家屋の撤去・復旧作業は、その後も続けられ、同会から出動した作業員は約180日間で延べ1,500人に達した。



被災家屋のがれき撤去



被災家屋のがれき撤去



倒壊の恐れのある建物の解体



解体材の撤去



解体撤去後の整地完了

■防災訓練の効果

同会は、つくば市及びつくばみらい市との災害協定に基づいて、毎年、両市の防災訓練に参加しており、訓練のマンネリ化を防ぐため、その内容についても様々なアイデアを提案している。倒壊家屋からのけが人の救出や、道路を塞ぐ障害物の速やかな撤去なども訓練で経験しており、今回の竜巻災害の復旧支援活動でもその経験が活かされたと言える。

同会では、今後もいつ発生するかわからない災害に対して、常に備えを怠らず、高い意識を持って防災活動に取り組んでいきたいとしている。

(2) 熊本広域大水害の復旧支援活動（熊本県建設業協会阿蘇支部）

事例 A1-03：熊本県

熊本広域大水害の復旧支援活動（熊本県建設業協会阿蘇支部）

平成 24 年 7 月 11 日、梅雨明けも近いと思われた阿蘇地方では、巨大な積乱雲が次々と発生して強い雨が降り始め、12 日早朝には、阿蘇市で時間雨量が 108 ミリと観測史上最大の豪雨となった。この豪雨で、市内を流れる黒川をはじめとする中小河川が氾濫、山間部では土砂崩れが多発し、広範囲で大きな被害が発生した。

河川の周辺地域では道路が冠水し、特に被害の大きかった内牧地区では、地区全体が冠水する状態となった。また、阿蘇外輪山の東側急傾斜地では、火山灰が大量の雨を含んで次々と崩落、複数の土石流となって合流し、麓の地区に大きな被害をもたらした。

阿蘇市と周辺町村における被害は、死者 23 名、行方不明 2 名、住家の損壊 1,240 棟、浸水 692 棟に上った。



河川氾濫による広域冠水（内牧地区）



田畑の冠水（跡ヶ瀬地区）



住宅地の冠水（内牧地区）



土石流の発生（手野地区）



土石流による被害（坂梨地区）

熊本県建設業協会阿蘇支部は、7月12日早朝、阿蘇地域振興局より支援要請を受けて、直ちに全会員51社に連絡を取り、パトロールと応急措置の準備に入った。

この日は、降り続く雨の中、パトロールに51社108人、応急措置に24社125人が出動した。午後7時には、全面通行止めとなった道路57箇所の応急復旧について阿蘇地域振興局と対策を協議し、翌日からの作業に備えた。

■道路の復旧

阿蘇の緊急輸送道路である国道57号線、生活幹線道路である国道212、265号線、県道別府一の宮線等の不通箇所の啓開（障害物を除去して通れるようにすること）を優先して作業を進めた。国道57号線は、4箇所が冠水して濁流が流れる状況であったが、迅速な啓開作業で12日午後には滝室坂を除いて通行可能となった。

国道265号線では、土砂にのまれた乗用車の救出路を確保するため、緊急の啓開作業が求められた。県道別府一の宮線は、阿蘇と湯布院、別府を結ぶ九州一の観光道路であるが、山間部が転石や土砂で覆われた状態で、復旧活動は難航した。

国道265号線は7月25日、国道57号線は8月20日に全線開通したが、県道別府一の宮線の復旧活動は9月中旬まで続いた。



国道57号線の流木



県道別府一の宮線の土砂崩れ



国道57号線滝室坂の復旧作業



県道別府一の宮線の復旧作業

■河川漂流物の処理

阿蘇地方の河川に流れ込んだ膨大な量の流木やゴミは、熊本市街を流れる白川を経て、数日後には有明海の沿岸部に流れ着いた。これらの漂着物は、熊本県建設業協会熊本支部をはじめ、周辺各支部が連携して処理した。

■人命救助活動支援

土砂崩壊等で多くの家屋や田畑が土砂にのみ込まれ、各地で人命救助活動が行われた。阿蘇支部会員はいち早く現地入りして、自衛隊や警察の救助活動に先立って被災地の土砂、流木等を撤去し、消防と連携して救助活動に当たった。



国道 265 号線の人命救助活動



三野地区の人命救助活動

■被災した家畜の処分

阿蘇地方は、養豚、養鶏が盛んであるが、今回の災害で豚 800 頭、鶏 1,850 羽が犠牲となった。同支部会員は、これらの処分作業（埋却溝の掘削、ブルーシートの敷設、埋却物の投入、消毒、埋戻し）を行った。



犠牲となった家畜の処分

■災害情報共有システムの構築へ

平成 18 年、熊本県建設業協会は、熊本県との間で「大規模災害時の支援活動に関する基本協定」を締結した。今回は、締結後初めての大規模災害となったが、同協会は、平成 2 年 7 月の豪雨災害時の経験を活かして、速やかに対策本部を立ち上げ、阿蘇支部を全面的に支援した。しかし、国や県、市町村、民間からの応急措置の要請が重なり、情報が錯綜するという問題が生じた。

同協会では、こうした問題を解決するため、平成 25 年 4 月、災害情報の共有システムを導入した。これは、地域の防災及び災害に関する情報を、県や協会など関係者が相互共有するシステムで、これによって、今後はより迅速かつ効率的な復旧活動が期待できる。

3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、自然災害の応急復旧活動や防災支援活動を始め、河川・道路清掃や植樹などの環境美化、社会福祉活動、各種催し等による住民とのふれあいなど、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 25 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 13 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	京都府	(一社)京都府建設業協会 宇治支部	京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動
A1-04	大分県	(一社)大分県建設業協会 竹田支部	九州北部豪雨災害の復旧支援活動
A2-01	愛知県	(一社)愛知県建設業協会	学校の防災授業での土のうづくり体験指導
A2-02	奈良県	(一社)奈良建設業会	奈良県防災総合訓練への参加
A3-01	山口県	(一社)山口県建設業協会 下関支部	「道の日」クリーンアップ作戦
A3-02	佐賀県	(一社)藤津建設業協会	道路や公園等の除草・清掃活動
A4-01	茨城県	(一社)茨城県建設業協会 大子支部	ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動
A5-01	群馬県	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会	幼稚園内砂場の砂補充活動
A5-02	石川県	(一社)加賀建設業協会 建築委員会	「夏休み親子ふれあい木工教室」
A5-03	兵庫県	(一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	コスモス畑の整備とフェアの開催
A6-01	岩手県	岩手県建設業協会 遠野支部青年部会	「遠野かっぱ工事隊」活動
A6-02	神奈川県	(一社)神奈川県建設業協会 県央支部	地域イベント会場での建設業PR活動
A6-03	奈良県	(一社)奈良県建設業協会	ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催

(1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	京都府	(一社)京都府建設業協会 宇治支部	京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動
A1-04	大分県	(一社)大分県建設業協会 竹田支部	九州北部豪雨災害の復旧支援活動

事例 A1-02 : 京都府

京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動 ((一社)京都府建設業協会宇治支部)

平成24年8月13日から14日にかけて関西地方を襲った集中豪雨により、京都府南部で、河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、道路は寸断され、多くの集落が孤立した。特に宇治市では、建物の全半壊31棟、床上浸水591棟など大きな被害が発生した。

京都府建設業協会宇治支部は、14日未明の宇治市からの第一報を皮切りに、各所からの緊急出動要請を受け、盆休み中の企業が多い中、復旧に必要な人員や機械、土のうなどの物資の手配を急ピッチで進めた。早朝からの現地調査の結果、被害が広範囲に及ぶことが判明したため、昼には支部内に対策本部を設置して情報を整理し、活動を本格化させた。



土砂崩れ被害

市民の生活道路の確保を最優先に作業を進めたが、山間部では重機のアクセス通路の確保から始めなければならない状況であった。そうした中、同支部の会員企業は、集落、道路の土砂やがれきの撤去、河川の護岸決壊箇所の監視と応急処置などに不眠不休で取り組み、1か月後には応急復旧工事をほぼ完了させた。

同支部は、今回の対応で得られた教訓、課題を検証し、今後の更なる体制整備につなげたいとしている。



土砂の撤去



堆積物の撤去

九州北部豪雨災害の復旧支援活動（(一社)大分県建設業協会竹田支部）

平成 24 年 7 月 12 日未明から九州北部で降り出した雨は、早朝にかけ大分県西部を中心に記録的な大雨となった。山間部に位置する竹田市では大雨・洪水警報が発表され、午前 6 時 15 分には全域に避難勧告が出された。午前 7 時までの 3 時間雨量は 135 ミリを記録し、市内を流れる玉来川が氾濫して濁流が山手地区まで達した。

大分県建設業協会竹田支部は、大きな被害の発生が予想されたため、早朝より幹部が事務所で待機し、午前 8 時には災害対策本部を設置した。しかし、災害対策の要となる大分県竹田土木事務所が浸水被害を受けたため、従来の指示・命令系統が機能しないことが判明した。そこで支部長は、県との災害協定に基づき、会員各社に対して管内の巡回と被災状況の報告、応急措置にあたるよう指示した。

各社は事前に定めていた担当区域を巡回して被災状況を支部に報告、支部は地図上にその情報を書き込んで被災状況を把握し、復旧の優先順位、復旧方法を検討した。また、行政機関からの指示、住民からの要請等もすべて支部に集中させることで、情報の混乱、指示の重複を避けるよう努めた。

同支部の管理の下、道路の全面通行止めの早期解消、家屋被害の拡大防止を最優先に、会員が一丸となって作業を進めた結果、被災箇所も順調に復旧していった。

なお、同年 12 月には、今回の災害復旧への同支部の貢献に対して、大分県土木建築部長より感謝状が贈られた。



市街地の土砂撤去



流路確保のための河床掘削



路面の泥土撤去



大分県土木建築部からの感謝状

(2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	愛知県	(一社)愛知県建設業協会	学校の防災授業での土のうづくり体験指導
A2-02	奈良県	(一社)奈良建設業会	奈良県防災総合訓練への参加

事例 A2-01：愛知県

学校の防災授業での土のうづくり体験指導（(一社)愛知県建設業協会）

愛知県建設業協会は、近年、台風や集中豪雨による建物の浸水被害が多発していることに着目し、学校施設や福祉施設を対象に、浸水被害を防止するための「土のう」を製作して提供する活動を始めた。これは、同協会が進める社会貢献活動の一環として企画したもので、「あったらいいな！！土のうで浸水から守ろう」運動として今後展開していく予定である。

初年度となる平成24年度は、12月から1月にかけて、いずれも過去に浸水被害があった県立守山高校と渥美農業高校で、特別授業として土のうのつくり方、積み方の体験学習を行った。

守山高校では1年生180人、渥美農業高校では運動部生徒90人が参加し、「災害に強い地域づくり」と題した講義の後、同協会の指導の下、土のう袋への砂詰め、運搬、積み上げを体験した。生徒が製作した土のう約200袋と会員が製作した800袋、合計1,000袋の土のうを保管場所に移動し、シートを被せて体験は終了した。なお、作業に使用したリヤカー、一輪車、スコップは、学校に寄贈した。



防災講義（守山高校）

同協会は、今後も社会貢献活動として「建設業だからできること」を取り上げ、地域の安全・安心を確保するとともに、建設業への関心と理解を深めてもらいたいと考えている。



土のう製作（渥美農業高校）



土のう保管（守山高校）

奈良県防災総合訓練への参加（（一社）奈良建設業会）

奈良建設業会は、災害発生時に迅速かつ適切な復旧活動を行えるよう、常日頃より業界内の防災体制の整備に努めるとともに、地元で開催される防災訓練等にも積極的に参加して、関係機関や地域住民との連携強化を図っている。

平成 24 年度は、9 月 1 日（防災の日）に天理市で開催された「奈良県防災総合訓練」（主催：奈良県、天理市）に参加し、実践的な役割を担った。この訓練は、地域住民や消防、警察、自衛隊のほか、建設関係、測量関係など県下の 64 団体約 800 人が参加する大規模なものとなった。

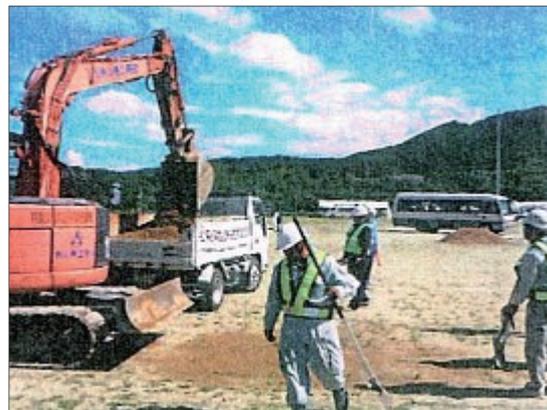
当日は、「午前 9 時、大雨が降り続いた状況で、天理市付近を震源とする M7.5 の地震が発生、市内全域で建物・家屋が倒壊し、それに伴う火災も発生、道路の損壊や河川の決壊、水道・電気・ガス・電話などの施設被害が相次いだ」との想定で訓練が始まった。

同会は、行政からの要請により、ダンプ 2 台、重機 1 台、作業員 5 名を動員して、バリケード設置後、道路を塞いでいたがれき、土砂等を速やかに撤去し、緊急交通路を確保する実践訓練を行った。また、水防訓練として、河川パトロール、土のう製造機による土のう製作などを行った。

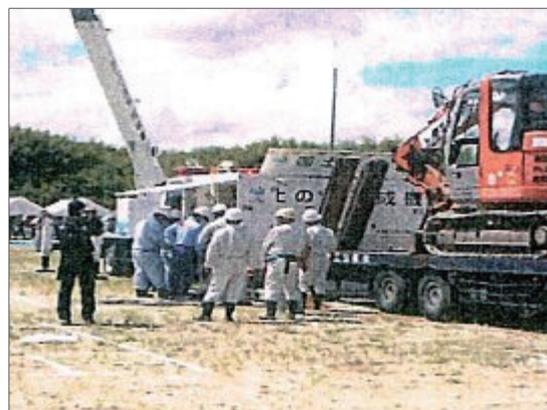
同会では、こうした訓練を繰り返すことで、業界はもとより地域全体の防災意識がさらに高まることを願って今後も活動を継続していくこととしている。



土砂の撤去訓練



土のう製作訓練



(3) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	山口県	(一社)山口県建設業協会 下関支部	「道の日」クリーンアップ作戦
A3-02	佐賀県	(一社)藤津建設業協会	道路や公園等の除草・清掃活動

事例 A3-01 : 山口県

「道の日」クリーンアップ作戦 (一社)山口県建設業協会下関支部

山口県建設業協会下関支部では、昭和56年より、毎月第3火曜日に道路清掃、環境美化啓発活動を行っている。また、毎年8月10日(道の日)には、山口県や下関市の職員とともに市内各所で「公共施設クリーンアップ作戦」を実施している。

平成24年度のクリーンアップ作戦では、会員企業20社から57名が参加して、新下関地区と川棚駅周辺地区で道路清掃作業を行った。当日は、朝から30度近くに気温が上がった中、午前9時に集合した参加者は、全建統一ベストを着用し、3班に分かれて歩道のゴミ拾いや草刈りに汗を流した。

下関市は、観光地としてはもちろん、4月の「維新海峡ウォーク」、10月の「ツール・ド・しものせき」、11月の「下関海響マラソン」など道路を利用した大規模イベントの開催地として、年間を通じて全国から多くの訪問客を迎えている。そのため、市は環境美化に特に力を入れており、美化活動を行う団体等を積極的に支援している。また、地域住民の美化意識も向上し、朝の挨拶を交わしながら、店舗や事務所前の道路を掃除する人々の光景が多く見られるようになった。

同支部は、「公共施設クリーンアップ作戦」をはじめとする地域貢献活動を重視しており、今後も積極的に展開していく考えである。



道路クリーンアップ作戦



歩道の雑草撤去



側溝の清掃

道路や公園等の除草・清掃活動（（一社）藤津建設業協会）

藤津建設業協会は、佐賀県の鹿島市、嬉野市、太良町の2市1町の会員企業で構成されており、市町ごとに地域の要望に合わせた環境美化活動を行っている。

中でも、毎年実施している鹿島市地域の道路の草刈り及び清掃作業、太良町地域の海水浴場駐車場及び公園の除草作業は、地域に定着した自主活動として、行政や関係機関のみならず地元の人々からも高く評価されている。

平成24年度の活動内容は次の通り。

(1) 海水浴場の敷地内駐車場及び公園の除草、ゴミ拾い

開催日：平成24年6月28日

場所：太良町白浜海水浴場

参加者：24名

共催：太良町建設業協会

(2) 保育園内外の除草及び砂場抗菌砂入替え

開催日：平成24年7月16日

場所：嬉野市吉田保育園

参加者：12名

共催：嬉野町建設業協同組合

(3) 国道のガードレール清掃

開催日：平成24年7月17日

場所：国道498号線

（塩田橋～鹿島市境）

参加者：12名

共催：塩田町建設業協会

(4) 国道及び市道の草刈り清掃

開催日：平成24年7月23日

場所：国道207号線バイパス側道
（黒川交差点～蟻尾山大橋）、
市道三源寺線（大木庭～浅浦）

参加者：29名

共催：鹿島市建設業協会

同協会では、今後も会員の自主的な発案による独自の奉仕活動を充実させることで、地域とのつながりを深めていきたいと考えている。



公園の除草



国道のガードレール清掃



市道の草刈り清掃

(4) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	茨城県	(一社)茨城県建設業協会 大子支部	ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動

事例 A4-01 : 茨城県

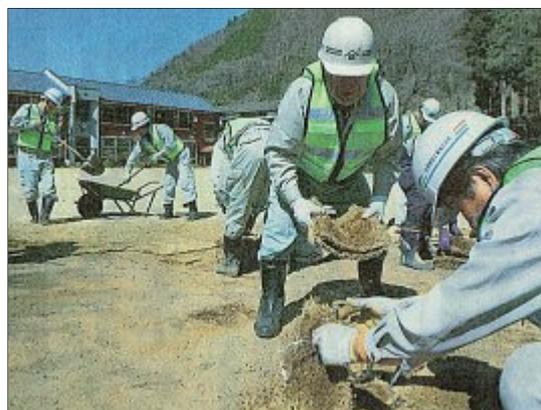
ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動 (一社)茨城県建設業協会大子支部)

茨城県大子町は、過疎化・高齢化の進む県北山間部に位置しており、町内にはドクターヘリと救急車が合流するランデブーポイント(場外離着陸場)が31箇所指定されている。しかし、その半数以上は学校関連施設の運動場を利用したもので、ヘリ着陸前には、砂ぼこりを防ぐため消防による散水が必要となる。こうした状況では緊急時の対応に不安があるので、下小川地区の町民からは、指定場所の一つとなっている同地区の大子町教育支援センター(旧西金小学校)運動場の芝生化を求める要望が出ていた。

これを知った茨城県建設業協会大子支部は、地域への奉仕活動の一環として、会員による同センター運動場の芝張り作業を申し出た。大子町はさっそく芝生と肥料を調達し、同支部会員が芝張り作業を担当することになった。作業は、3月中旬の3日間、同支部から述べ60人が参加して行われ、会員が提供した重機で運動場を整地した後、肥料を施し、約1,600㎡の芝生を手際よく張っていった。

完成した芝生運動場は、今後は地域住民によって万全の管理を行いながら、グラウンドゴルフなどの軽スポーツを楽しむ住民交流の場としても活用していく予定である。

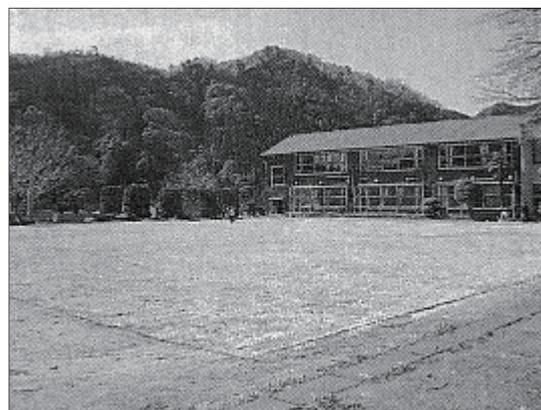
同支部では、これまでも道路清掃や花壇整備などの活動を積極的に行ってきたが、今後も地域の要望に沿った活動を充実させ、貢献したいとしている。



芝生の搬入



芝張り作業



完成した芝生運動場

(5) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	群馬県	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会	幼稚園内砂場の砂補充活動
A5-02	石川県	(一社)加賀建設業協会 建築委員会	「夏休み親子ふれあい木工教室」
A5-03	兵庫県	(一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	コスモス畑の整備とフェアの開催

事例 A5-01：群馬県

幼稚園内砂場の砂補充活動（(一社)群馬県建設業協会太田支部青年経営者部会）

群馬県建設業協会太田支部の青年経営者部会は、平成21年より、太田市内の幼稚園を対象に、園児たちと一緒に砂場の砂を補充するボランティア活動を実施している。これは、安全な砂場を提供するとともに、園児たちに建設業への興味を持ってもらい、将来の担い手が一人でも多く育ってほしいとの期待を込めた活動である。

この活動は、毎年春と秋に2箇所ずつ実施しており、平成24年度は、6月5日に大光院幼稚園と太田幼稚園、11月8日にひかり幼稚園となかよし幼稚園で実施した。当日は、園庭に運び込まれた砂を、園児たちはシャベルとバケツで、部会メンバーは重機で、どちらが早く砂場まで運べるか競争するなど、楽しみながら作業を進めた。補充が完了した砂場では、さっそく園児たちの歓声が響き渡った。



大光院幼稚園での活動

福島原発事故後の園庭除染で砂場の砂が減り、砂遊びを制限していた幼稚園からは「これから毎日遊べるので子どもたちも大喜びです」と感謝の言葉を贈られた。

同部会は、地域に愛される建設業を目指して、今後もこうしたふれあいの機会を増やしていきたいと考えている。



太田幼稚園での活動



ひかり幼稚園での活動

「夏休み親子ふれあい木工教室」(一社)加賀建設業協会建築委員会

加賀建設業協会建築委員会では、平成22年より毎年8月、市内の小学生を対象とした「夏休み親子ふれあい木工教室」を開催している。これは、木材に親しみながら、親子が一緒になって飾り棚などの木工作品づくりを体験することで、ものづくりの楽しさを知り、建設業を身近に感じてもらうことを目的とした活動である。

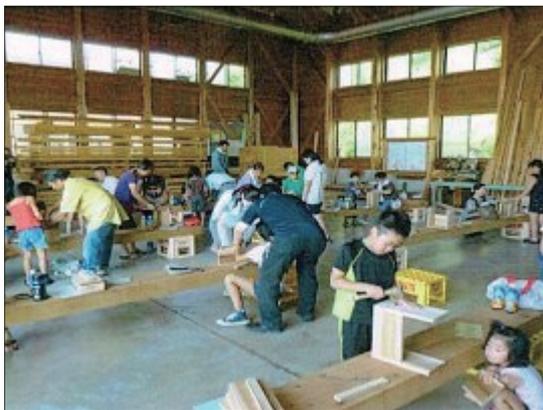
平成24年度は、8月25日、小松市のかが森林組合那谷工場において、加賀市山代小学校の児童と保護者ら100人が参加して開催された。参加者は、建築委員が事前に加工したブランド材「かが杉」の板を使って、スパイスラックや飾り棚作りに挑戦した。

はじめは慣れない手つきでくぎ打ちに苦戦していた親子も、委員のアドバイスを受けながら、きれいに組み立てることができ、満足げな様子であった。

同協会では、土木委員会においても同様のふれあい活動に積極的に取り組んでおり、今後も身近で信頼される建設業を目指して努力を続けたいとしている。



木工教室会場(かが森林組合那谷工場)



木工作品づくりに挑戦



完成した作品

コスモス畑の整備とフェアの開催（（一社）兵庫県建設業協会尼崎支部青年部会）

兵庫県建設業協会尼崎支部の青年部会は、平成 20 年より、武庫川河川敷の「髭の渡しコスモス園」で、満開のコスモスを高所作業車に乗って上空から楽しむイベント「コスモスフェア～キラキラ笑顔のコスモス園～」を開催している。

平成 24 年度は、コスモスが満開となった 11 月 10 日に開催され、高所作業車からのコスモス見学のほか、小型建設機械の展示・試乗体験、飲食ブース「髭茶屋」での野点や軽食販売が行われた。特に高所作業車からの見学は順番待ちの長い行列ができる人気で、この日 480 人が上空から満開のコスモスを楽しんだ。また、子どもたちはミニバックホウや 3t ローラーに試乗して大喜びであった。

「髭の渡しコスモス園」は、ゴミの不法投棄などで荒れていた河川敷の環境を改善しようと、同部会がボランティア団体「髭の渡し花咲き会」と連携して開墾整備した公園で、今では毎年 4 万人以上が訪れる花の名所として知られている。

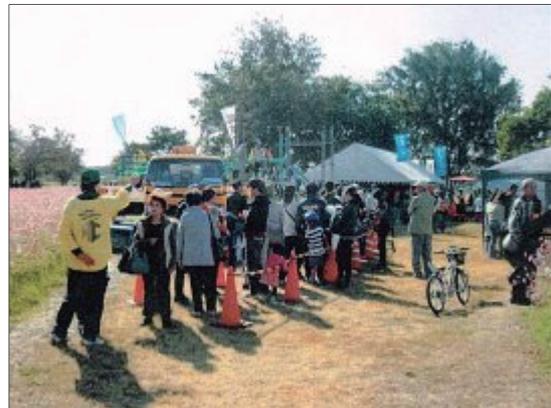
同部会は、来年以降も公園の維持活動やフェアの開催を通じて、市民に親しまれる建設業となることを目指している。



髭の渡しコスモス園



高所作業車からの見学



見学順番待ちの列



小型重機の試乗体験



飲食ブース「髭茶屋」

(6) 啓蒙活動

協会及び支部の啓蒙活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-01	岩手県	岩手県建設業協会 遠野支部青年部会	「遠野かっぱ工事隊」活動
A6-02	神奈川県	(一社)神奈川県建設業協会 県央支部	地域イベント会場での建設業PR活動
A6-03	奈良県	(一社)奈良県建設業協会	ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催

事例 A6-01：岩手県

「遠野かっぱ工事隊」活動（岩手県建設業協会遠野支部青年部会）

岩手県遠野市で復興支援道路として整備が進められている国道340号土淵バイパス（平成26年度完成予定）は、遠野の観光名所「カップ淵」や「伝承園」付近を通ることから、「遠野かっぱロード」と命名された。

岩手県建設業協会遠野支部の青年部会は、この命名を機に、平成24年3月、バイパス工事に携わる地元会員を中心に「遠野かっぱ工事隊」を結成し、地元のPR活動や奉仕活動を開始した。「遠野かっぱ工事隊」は、県の土木センターが発案、同部会が具体化した部隊で、地元及び周辺の震災地域の活性化を目的としている。隊員は、かっぱ形のヘルメット、緑のつなぎ服、背中に甲羅を描いたベストを着用して活動している。

平成24年度は、震災復興状況のパネル展示、かっぱ仮装コンテスト、遠野かっぱロードPRキャンペーン、遠野かっぱロードフェスティバルなどを開催した。フェスティバルでは、遠野かっぱロードの一部供用開始を記念した祝賀パレードのほか、シンボルモニュメント「かっぱ地蔵」の公開、前夜祭として2000個の灯籠設置とミニライブなどを行い、地元住民らと交流を図った。また、平成25年3月には、発足1周年記念行事として、遠野かっぱロードの開通区間で、路面やガードパイプの清掃活動を実施した。

同部会では、今後「遠野かっぱ工事隊」の活動をさらに充実させ、地域の活性化と復興支援に役立たせたいとしている。



遠野かっぱ工事隊



遠野かっぱロードのPR

地域イベント会場での建設業PR活動（（一社）神奈川県建設業協会県央支部）

神奈川県建設業協会県央支部では、環境美化活動の一環として、地元自治体が開催する各種イベント会場でゴミ袋セットを配布しているが、同時に支部が制作したリーフレットを渡して、建設業の社会的意義をPRしている。

この活動は、平成11年度に始まり、当初は団体名を印刷したゴミ袋だけを配布していたが、平成18年度からは、団体の目的や事業内容を紹介するリーフレット5,000部を別途制作し、ゴミ袋とセットで配布するスタイルとなった。

平成24年度のリーフレットは、災害時に建設業が果たす役割を4コマ漫画で分かりやすく紹介、また、裏面には防災拠点マップや行政の災害情報メニューをQRコード付きで掲載するなど、より役立つ内容となっている。

同支部では、今後も建設業の社会的意義について周知活動を続けたいとしている。



建設業PRリーフレット表面



建設業PRリーフレット裏面



イベントでのリーフレット配布

ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催（(一社)奈良県建設業協会）

奈良県建設業協会では、毎年秋に、小学校高学年の児童を対象とした「ドリーム21けんせつ絵画コンクール」を開催している。これは、建設現場を見て感じたこと、想像したことを子どもたちに描いてもらうことで、自ら表現する喜びを味わい、また建設業に興味を持ってもらおうと始めたイベントで、同協会が関係団体とともに結成した実行委員会が主催者となっている。

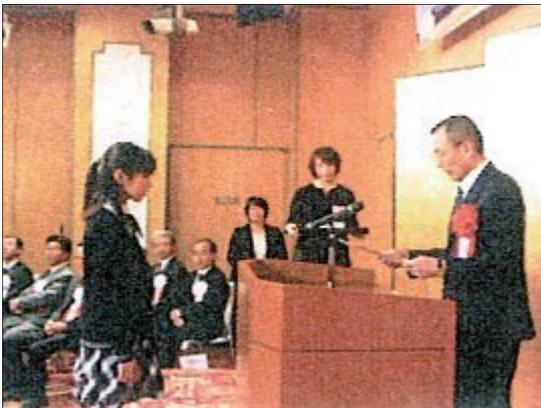
15年目を迎える平成24年度の募集テーマは「こんなたてものがあればいいな、未来の遊び場・街・公園・夢の建設ロボット」とし、募集期間は7月21日～9月7日までとした。

審査の結果、特別賞8作品、優秀賞42作品が選ばれ、11月17日に春日野荘にて表彰式を行った。受賞作品は、表彰式会場に掲示した後、12月には奈良県立図書情報館に展示し、広く県民に公開した。

同協会は、こうした機会を通じて、建設業に対する理解を深めてもらい、将来のまちづくりを担う人材が育ってほしいと願っている。



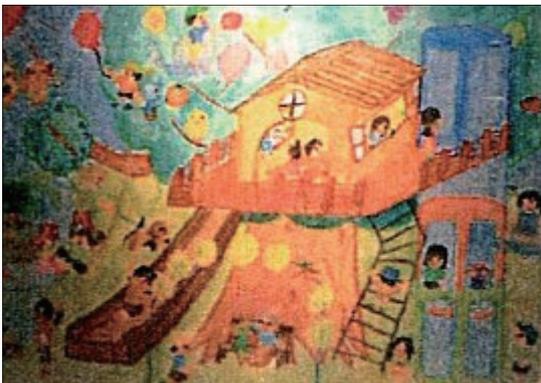
絵画コンクール表彰式会場



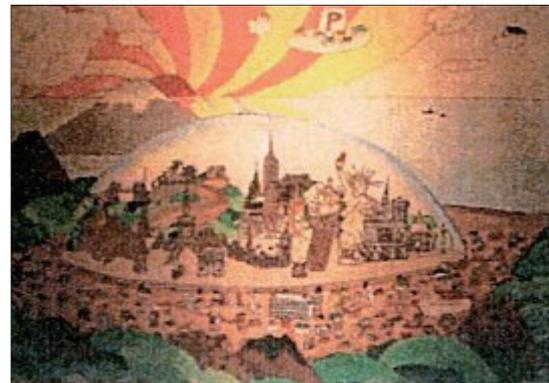
優秀作品の表彰



表彰式会場での作品掲示



最優秀作品



優秀特別作品

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域の防災支援活動や環境美化・保全活動、社会福祉活動、建設業ふれあい活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成25年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、ここでは次の13事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	青森県	(株)南建設	鉱山廃水処理施設の土砂災害時緊急支援
B1-02	滋賀県	(株)内田組	集中豪雨による土砂災害復旧支援活動
B2-01	新潟県	(株)小池組	「海拔表示ステッカー」の掲示活動
B3-01	北海道	勇建設(株)	公園・道路の清掃活動
B3-02	山形県	(株)佐藤工務	海岸・河川の清掃活動
B3-03	鹿児島県	薩摩建設(株)	道路・河川敷の整備清掃活動
B4-01	北海道	国策建設(株)	カラカネイトトンボ生息地の保全活動
B4-02	岡山県	天野産業(株)	カブトガニ繁殖地の保護啓発運動
B5-01	秋田県	伊藤工業(株)	「チーム伊達直人」を結成して除雪奉仕活動
B5-02	長崎県	(株)森開発	大規模な献血活動
B6-01	愛知県	東海建設(株)	子どもの夏休み職業体験の実施
B6-02	長崎県	大坪建設(株)	「大坪建設杯スポーツ大会」の開催
B7-01	愛知県	矢作建設工業(株)	工事現場での建設イメージアップ活動

(1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	青森県	(株)南建設	鉱山廃水処理施設の土砂災害時緊急支援
B1-02	滋賀県	(株)内田組	集中豪雨による土砂災害復旧支援活動

事例 B1-01 : 青森県

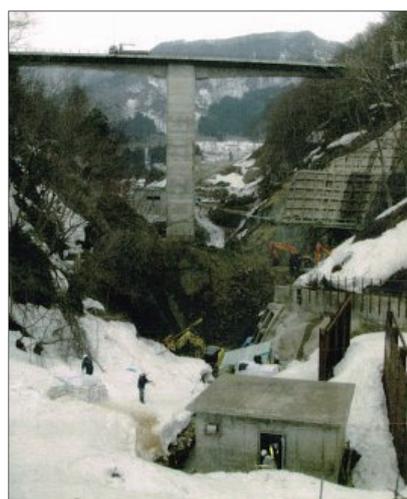
鉱山廃水処理施設の土砂災害時緊急支援 (株)南建設

青森県西目屋村の旧尾太鉱山は、休廃止鉱山の一つであり、現在、県が管理して坑廃水処理事業を行っている。しかし、処理施設が山腹に位置しているため、土砂崩壊や雪崩等で施設が被害を受けて、廃水が流出する事故が度々発生している。

平成 24 年 4 月 15 日には、原水槽に大量の土砂が流れ込み、廃水を汲み上げるポンプが停止して、重金属を含む廃水が未処理のまま目屋ダムに流出する事故が発生した。目屋ダムは、弘前市周辺の水源となっており、早急な対応が求められた。

(株)南建設は、4 月 16 日早朝、県より事故対応の緊急出動要請を受け、作業人員を確保して現場に急行した。流出を止めるためには、揚水ポンプの復旧が必要で、一刻も早く 2 箇所の原水槽内の土砂を撤去しなければならない。作業員は 2 班に分かれて狭い槽内に入り、土のう袋に土砂を詰めてロープで引き上げ、狭い足場の上を手渡しで場外へ運んだ。こうして夕方までに 600 袋を搬出したところ、1 箇所のポンプが復旧し、流出量は半減した。翌 17 日も同様な作業を続け、夕方には 2 箇所の土砂撤去作業が完了した。搬出土砂は 800 袋に達していた。18 日には、土砂流入の原因となった孔の閉塞作業を行って施設を再稼働させ、流出を完全に止めることができた。

同社の迅速な対応により、水質汚染に至る前に流出が止まり、二次災害を防ぐことができた。



旧尾太鉱山廃水処理施設



鉱山廃水の流出



原水槽内での作業

集中豪雨による土砂災害復旧支援活動（(株)内田組）

平成 24 年 8 月 13 日から 14 日にかけて関西地方を襲った集中豪雨により、滋賀県大津市では、法面崩落、道路損壊など大規模な土砂災害が発生した。

(株)内田組は、14 日早朝、大津市の出動要請を受け、全社員が緊急集合して石山外畑地区の被災現場に駆けつけた。社長の陣頭指揮の下、復旧作業を開始したが、この日夕方、同地区で土砂崩れにより LP ガス貯蔵庫が破壊され、漏れ出したガスが燃焼して民家 2 戸が全焼する事故が発生した。同社社員は、消火後ただちに現場に入り、民家内と周辺の土砂や倒木の撤去・清掃、崩れた斜面の整備、大型土のうの設置など、22 日までの間、昼夜を問わず作業を続け、応急復旧を完了させた。

引き続き 23 日からは、同様の被害があった石山内畑地区に入り、9 月 3 日までの間、土砂・倒木の撤去、道路清掃、斜面養生、排水管の修復、大型土のう設置などの作業にあたった。

同社が、盆休み中にもかかわらず、迅速に対応し、21 日間不休で作業にあたったことで、被害の拡大が防がれ、早期の復旧が実現した。



流出土砂の撤去（外畑地区）



倒木の撤去（外畑地区）



大型土のうの設置（外畑地区）



土砂の撤去（内畑地区）



排水管の修復（内畑地区）

(2) 防災支援活動

会員企業の防災支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-01	新潟県	(株)小池組	「海拔表示ステッカー」の掲示活動

事例 B2-01：新潟県

「海拔表示ステッカー」の掲示活動（(株)小池組）

(株)小池組は、地元の新潟でも東日本大震災クラスの津波が起こる可能性があると考え、平成23年8月、地元住民の防災意識を高め、避難誘導などに活用してもらうことを目的に、「海拔表示ステッカー」を作製して新発田市に寄贈した。

このステッカーは、空欄に設置場所の海拔を記入する形式で、9月中旬より、地元の小学生たちによって、藤塚浜海岸付近の公共施設など34箇所に掲示された。

その後、この活動が地元の放送局や新聞等で報道され話題となったことで、新潟県建設業協会の各支部から、協会全体の活動として取り組むべきとの声が上がった。

そこで、協会としてステッカーを作製し、沿岸部の各支部が事業として取り組むことになった。この活動は、平成23年12月から翌年9月にかけて、海岸線を持つ佐渡、村上、新発田、新潟、巻、与板、柏崎、上越、糸魚川の9支部で実施され、約2,000箇所ステッカーが掲示された。

この活動は、改めて地元紙に取り上げられるとともに、新潟市の防災会議津波対策専門部会において報告され、道路や電力事業にも波及している。

(株)小池組の地域に密着した小さな活動が、大きな広がりを見せ、地域の安全・安心を担う建設業のイメージアップに大きく貢献している。



海拔表示ステッカーの掲示



海拔表示ステッカー

建設業の小池組（新発田市、小池金一社長）は現在地の海拔を表記したA3判

とA4判サイズのステッカーを作製、新発田市に寄贈する。9月中旬から市の協力を得て、同市の沿岸部にある公共施設などに張り付ける。万一の津波災害を想定し、避難を呼びかける。

「海拔表示ステッカー」写真には「ここは海拔〇m ゆれたら高い所へひなんしましょう 新発田市」と表記した。空欄に海抜を印刷する。

新発田市内の小学校や保育園、公民館などの施設に約20枚、市内の主要な消防栓に約30枚張り付ける。津波が起こりうる地震が発生した場合に備えてもらう。

今後、新発田市のほかにも日本海に面した下越地区の自治体に設置を働き掛け、住民の防災意識を高めたい。

海拔表示ステッカー

津波時の避難呼びかけ

小池組、新発田市に寄贈

新聞記事（日本経済新聞）

(3) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	北海道	勇建設(株)	公園・道路の清掃活動
B3-02	山形県	(株)佐藤工務	海岸・河川の清掃活動
B3-03	鹿児島県	薩摩建設(株)	道路・河川敷の整備清掃活動

事例 B3-01 : 北海道

公園・道路の清掃活動（勇建設(株)）

勇建設(株)は、平成18年より、本社が所在する札幌市中央区桑園地区周辺の公園・道路の清掃活動を実施している。

これは、同社の行動憲章に掲げた「地域社会とのコミュニケーションを大切にし、信頼され親しまれる会社を目指す」との方針に基づく活動で、グループ会社も参加する大規模な活動となっている。

平成24年度は、4月27日、役職員約60名が参加し、2班に分かれて北4条ミニ大通公園と北6条エルムの里公園及び周辺で、空き缶や吸い殻、枯れ枝など11袋分のゴミを拾い集めて、清掃した。

同社は、平成21年に中央区道路アダプト制度に登録し、道路清掃（春～秋）や歩道・交差点の砂まき（冬）などを年間15回程度実施しており、今後もこうした活動を続けることで、地域に根差した企業を目指していきたいとしている。



清掃活動前ミーティング



桑園地区の歩道清掃



公園周辺の歩道清掃



海岸・河川の清掃活動（株）佐藤工務

（株）佐藤工務は、ISO14001 の認証を取得した平成 18 年より、地元の鶴岡市由良漁港周辺で海岸清掃活動を行っている。昭和 50 年代から漁港の拡張、離岸堤や埋立て護岸の整備など数多くの工事を手掛け、地元自治会とも良好な関係を築いていたことが、この活動を始める要因となった。

平成 24 年度は、海水浴シーズンを控えた 6 月 30 日、由良漁港埋立て護岸周辺と白山島遊歩道などで、社員ら約 80 人が清掃活動を行った。特に埋立て護岸付近には、流木や砂、漂着ゴミなどが堆積しており、軽トラックを駆使してこれらを撤去した。

また、平成 20 年 6 月、「山形県ふるさとの川アダプト事業」の河川アダプト団体に認定されており、由良海岸の清掃作業も認定活動の一つとなっている。

同社は、自らの ISO14001 環境行動指針の一つ「周辺住民と生き活きた関係の構築」に基づいて、今後も、地元地域との良好な関係を深める活動を続けていきたいとしている。



埋立て護岸周辺の清掃



白山島遊歩道の清掃



アダプト事業の看板



清掃活動参加者

道路・河川敷の整備清掃活動（薩摩建設（株））

薩摩建設（株）は、自社の保有する技術、重機類を活用して、地域のニーズに応えた様々なボランティア活動を実施している。

（1）道路環境の整備

毎年定期的に、会社の前を通る県道約1kmの区間で、清掃・草刈り活動を行っている。平成22年度には、県のふるさとの道サポーターの認証を受け、以降道路沿いに花壇を整備して、季節ごとに花を植え、ドライバーの目を楽しませている。



道路沿いの花壇整備

（2）イベント会場の環境整備

平成25年2月に開催された「さつま町平成18年豪雨災害復興祭」の前には、式典会場や河川敷のウォーキングコース周辺で清掃を行い、また、河川護岸工事で取り付けたままになっている針金等を撤去するなど、参加者の安全確保に努めた。



河川護岸の針金撤去

（3）学校の環境整備支援

地元の求名小学校のPTA奉仕活動に参加している。また、同校通用門のフェンス取替え、宮之城中学校のグラウンド整備等では無償で作業を行っている。

（4）子どもたちとのふれあい活動

土木工事に親しみを持ってもらうため、近隣の児童や園児を対象とした現場見学会、お絵かき大会等を開催している。子どもたちの描いた絵は、現場の仮囲い等に展示しており、地域の話題となっている。

同社は、こうした地域に根差した様々な分野の活動を通じて、「地域になくてはならない存在であり続ける会社」を目指している。



学校のグラウンド清掃



子供たちの現場見学会

(4) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-01	北海道	国策建設(株)	カラカネイトトンボ生息地の保全活動
B4-02	岡山県	天野産業(株)	カブトガニ繁殖地の保護啓発運動

事例 B4-01 : 北海道

カラカネイトトンボ生息地の保全活動（国策建設(株)）

国策建設(株)は、平成13年より、地元で結成された「カラカネイトトンボを守る会」に参加して、積極的な環境保全活動を行っている。

「カラカネイトトンボを守る会」は、札幌市の篠路福移湿原の保全と、湿原に生息する動植物の保護を中心に、地域の貴重な自然を守る活動を実践するNPO法人で、主な活動内容は次のとおりである。

(1) 篠路福移湿原の保全活動

埋め立てで急速に失われつつある篠路福移湿原を守るため、土地を賃借して管理するほか、寄付や助成で土地を取得するナショナル・トラスト運動を展開している。

(2) 湿原の動植物の保護活動

篠路福移湿原に生息するカラカネイトトンボ（準絶滅危惧種）などの貴重な動植物を、新たに整備したビオトープに移住させ、生存・繁殖を見守っている。

(3) トンネウス沼の保全活動

茨戸川につながるトンネウス沼が、富栄養化により植生が変化して陸化しているため、過剰に繁茂したヨシ、ミズトクサなどの抽水植物を取り除く開削作業を行っている。

同社は、建設業の機動力を活かして、ビオトープ整備や、毎年行う湿原や沼での草刈り、ヨシ撤去、大掃除などの作業で中心的な役割を果たしているが、今後も、同社環境方針に基づき、環境保全活動の充実を図っていく考えである。



カラカネイトトンボ



ビオトープの清掃



トンネウス沼の開削

カブトガニ繁殖地の保護啓発運動（天野産業(株)）

岡山県笠岡市の笠岡湾周辺干潟は、「カブトガニ繁殖地」として日本で唯一国の天然記念物に指定されており、笠岡市では「カブトガニ保護条例」を制定して、幼生の放流などを実施している。しかし、近年は干潟での潮干狩りやゴミの投棄などにより、生息環境の悪化が懸念される状況となっている。

天野産業(株)は、笠岡港の浚渫、護岸工事などを多く手掛けており、以前より海岸線での環境保全に努めてきたが、平成20年、カブトガニ生息の現状を知り、翌年から繁殖地の保護啓発運動に本格的に取り組むことにした。以来、繁殖地での年2回の清掃活動、潮干狩りなど入浜者に対するのぼり旗とチラシによる啓発活動を続けながら、周辺の企業にもこの運動への参加を呼びかけた。その結果、平成24年度には、24団体、延べ424名が参加する大規模な運動となった。

同社が保護啓発運動を始めた平成21年以降、カブトガニの自然産卵が確認され、干潟で幼生の姿が見られるようになり、運動の効果が顕著に現れている。

なお、同社の保護啓発運動に対して、平成22年3月に笠岡市教育委員長から、平成24年7月には笠岡市長から感謝状が贈られた。



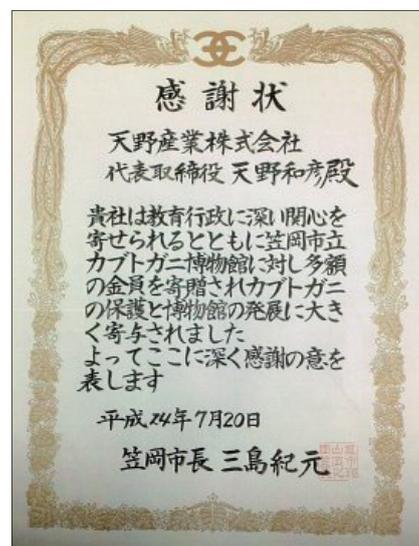
のぼり旗を立てて海岸清掃



入浜者への啓発チラシ配布



海岸周辺の道路清掃



笠岡市長からの感謝状

(5) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-01	秋田県	伊藤工業(株)	「チーム伊達直人」を結成して除雪奉仕活動
B5-02	長崎県	(株)森開発	大規模な献血活動

事例 B5-01：秋田県

「チーム伊達直人」を結成して除雪奉仕活動（伊藤工業(株)）

伊藤工業(株)は、企業の社会的責任（CSR）を重視した経営を行い、日頃から除雪奉仕活動、献血活動などを積極的に展開している。

除雪奉仕については、福祉施設等への匿名寄付で話題となった「伊達直人（タイガーマスク）」の影響を受けて、社内有志が「チーム伊達直人」を結成。タイガーマスクのヘルメットを着用して高齢者宅に参上し、屋根の雪下ろしや、除排雪を手際よく行っている。「チーム伊達直人」は、夏には保育園にカブトムシを贈るなど、除雪以外にも様々な活動を行っており、住民からも親しまれ、感謝されている。

また同社は、献血活動も30年以上に亘って続けており、平成17年には秋田県知事より表彰され、平成21年には厚生労働大臣より感謝状が贈られた。

同社は、今後も地域社会への貢献活動を活発に行うことで、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えている。



タイガーマスクヘルメットの着用



チーム伊達直人による除雪奉仕



厚生労働大臣からの感謝状

大規模な献血活動（(株)森開発）

(株)森開発は、毎年2回、大規模な献血活動を実施している。

同社は、31年前、会社のダンプトラックが起こした人身事故をきっかけに、献血の必要性を痛感し、率先して献血に協力することで社会に貢献しようと考えた。

当初は、社員十数人の献血から始めたが、次第に関係会社や協力会社からの参加者が増えていき、その後、近隣の会社や地域住民にも参加を呼び掛けるようになって、今では、毎回400～500人が参加する長崎県内でも最大規模の献血活動となっている。

平成24年度は、9月と3月の2回、同社敷地内に移動採血車4台を配置して実施した。3月の献血では、雨天にも関わらず438人の参加が得られた。日本赤十字社からは、「冬場から春先にかけては血液が不足する時期。年度末で忙しい中これだけ多くの方にご協力頂き、非常に助かります」との言葉を頂いた。

30年間で献血者累計は9千人を超え、来年度は1万人に達する見込みである。

また、3月には献血活動30周年を記念して、日本赤十字社に献血広報車1台を寄贈した。広報車は、日本赤十字社の広報活動のほか、採血スタッフの移動、資材の運搬などに活躍している。

同社の献血活動は、日本赤十字社からも高く評価されており、平成17年に金色有功章、平成21年には銀色有功章を受章した。



献血受付



採血



献血広報車の寄贈



日本赤十字社の銀色有功章

(6) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B6-01	愛知県	東海建設(株)	子どもの夏休み職業体験の実施
B6-02	長崎県	大坪建設(株)	「大坪建設杯スポーツ大会」の開催

事例 B6-01：愛知県

子どもの夏休み職業体験の実施（東海建設(株)）

東海建設(株)は、平成19年より、近隣の子どもたちを対象とした「子どもの職業体験」を実施している。

これは、毎年夏休みに、社員の子どもを含む近隣の子ども会から15名ほどを招いて開催する体験イベントで、地域の子育て支援とともに、子どもたちに建設業の仕事や役割を理解してもらうことを目的としている。

平成24年度の実施内容は次の通り。

(1) 本社敷地内での体験

- ・大型ペイローダーの試乗体験とバケット操作体験
- ・セオドライトを用いた自作紙飛行機の飛距離測定体験

(2) 橋梁工事現場での体験

- ・アスファルト舗装前の橋面コンクリート下地をキャンバスとしたお絵かき大会

(3) 造成工事現場での体験

- ・測量杭の試打ち体験

普段見ることがない大型重機や建設工事現場を間近で体験することは、子どもたちにとって驚きと興奮の連続であり、同時に、その危険性も肌で感じ取ることができて、夏休みの楽しい思い出となった。

こうした活動を続けていることが行政からも評価され、同社は、平成22年、名古屋市の「子育て支援企業」として認定されている。



大型重機の試乗体験



距離測定体験



測量杭の試打ち体験

「大坪建設杯スポーツ大会」の開催（大坪建設（株））

大坪建設（株）は、地元の長崎県平戸市田平町で、毎年「大坪建設杯サッカー大会」と「大坪建設杯バドミントン大会」を開催している。

サッカー大会は、「仲間とサッカーをやりたいが、活動場所や資金がない」、「中学生でも参加できるサッカー大会を地元で開催してほしい」という地元の若者や保護者の声に応じて、平成元年から実施している。実施要領の決定から案内状の作成、関係者への協力依頼、賞品の準備、当日の運営まで、すべて同社社員が行う手作りの大会である。

第1回目は青年3チーム、中学生2チームの参加で始まった本大会であるが、現在では、チーム数が増えて選抜しなければならない状況で、平戸市民が毎年楽しみにしている年中行事の一つとなっている。

また、平成12年からは、やはり地元の要望に応じて、バドミントン大会も実施している。バドミントンは、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が楽しめるので、住民の健康維持・増進とともに、世代間の交流を深める機会としても役立っている。

バドミントン大会では、個人の成績に応じて「完璧」、「見事」、「上手」などと書かれた手作りの賞状が贈られている。

同社は、今後もこうしたスポーツ大会を充実させることで、地域の活性化に貢献していきたいと考えている。



第4回バドミントン大会参加者



第5回バドミントン大会表彰



第6回バドミントン大会表彰

(7) 啓蒙活動

会員企業の啓蒙活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B7-01	愛知県	矢作建設工業(株)	工事現場での建設イメージアップ活動

事例 B7-01 : 愛知県

工事現場での建設イメージアップ活動（矢作建設工業(株)）

矢作建設工業(株)は、工事を進めるうえで近隣の理解が不可欠と考え、工事現場単位で、周辺住民とのふれあい活動を積極的に展開している。

同社が名古屋市内で手掛ける「1号一色大橋道路建設工事」は、国道1号線と住宅密集地の狭間で行う道路拡張工事で、バス停や通学路が近接しているため、工事現場事務所では次のような活動を行っている。

(1) バス停待合所の設置

バス停前の現場敷地を待合場所として提供し、防犯灯と工事説明の大型看板を設置した。



バス停待合所

(2) 小学生登校時の交通誘導

現場内の通学路を歩いて登校する児童を、交通誘導員が誘導している。



小学生の交通誘導

(3) 「子ども110番の家」への登録

通学中の児童を犯罪から守るため、学区内の子ども110番事業所として指定を受けた。

(4) 子ども絵画コンクールの開催

夏休みに子ども絵画コンクールを開催し、優秀作品を表彰するとともに、応募作品は通学路沿いの防音デザインパネル上に展示している。

(5) 地域イベントへの参加

地域が行う清掃活動や餅つき大会などには、欠かさず参加している。

同社は、こうした活動を通じて近隣住民とふれあい、信頼を得ることで、工事を安全かつ円滑に進めるとともに、建設業のイメージアップを図っていききたいと考えている。



絵画コンクール作品の展示

4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
北海道	第34回建設産業交通安全全道大会	平成25年9月26日	札幌市	業界325人、自治体12人
	地域を支える建設業パネル展	平成25年11月18日～22日	札幌市	業界6人、一般402人、自治体10人
	交通安全街頭啓発活動（6月の工事着工期と9月の工事追込期に実施）（札幌建設業協会）	平成25年6月28日、9月10日	（工事着工期）札幌市豊平区豊平4条3丁目豊平神社前他1箇所 （工事追込期）札幌市北区北40条西5丁目	業界240人、一般20人
	平成25年度道路クリーン作戦（小樽建設協会）	平成25年5月13日	小樽市・余市町・共和町・黒松内町・倶知安町	業界284人、自治体81人
	小樽建設協会創立60周年記念事業「地域インフラを考える」パネル展（小樽建設協会）	平成25年7月28日～8月11日	札幌地下歩行空間 憩いの広場（札幌市）各3日間・ウイングベイ小樽五番街一階ネイチャーチャンネル（小樽市）・後志総合振興局 一階ロビー（倶知安町）・岩内地方文化センター 一階ホワイエ（岩内町）	業界47人、一般2,226人
	第2回室蘭港鉄人舟漕ぎ大会（室蘭建設業協会）	平成25年7月17日	室蘭市室蘭港	参加総数約500人
	第5回苫小牧はすかつぶポートレース（室蘭建設業協会）	平成25年8月31日	苫小牧市苫小牧西港	参加総数約500人
	高校生の建設現場見学会（室蘭建設業協会）	平成25年10月10日、29日	日高地区：苫小牧市新とさわスケートセンター改築、若草町市営住宅新築 室蘭地区：室蘭市寿町団地、港小学校新築工事	業界11人、一般80人、自治体95人
	建設産業安全大会（室蘭建設業協会）	平成25年9月25日	室蘭市	業界200人
	クリーンアップ日本海（留萌建設協会）	平成25年5月31日	留萌市	業界70人、一般230人、自治体400人
	流雪溝投雪ボランティア（旭川建設業協会）	平成25年2月16日	旭川市内の流雪溝沿いの国道・道道・市道に隣接する高齢者世帯と空き家に面した歩道	旭川開発建設部72人、旭川建設管理部33人、協会24人、旭川市87人、重機14台（オペレータ14人）
	高校生の建設工事現場見学会 旭川工業高等学校建築科（旭川建設業協会）	平成25年9月6日	・旭山動物園大型草食獣館（仮称）カバ棟新築工事・旭山動物園大型草食獣館（仮称）キリン棟新築工事・旭川市中心市街地団地2-A工区新築工事・旭川市中心市街地団地2-B工区新築工事	生徒39人、教諭4人、協会7人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	高校生の建設工事現場見学会 旭川工業高等学校土木科（旭川建設業協会）	平成25年9月20日	東光スポーツ公園球技場（1工区）グラウンド整備工事・東光スポーツ公園球技場（2工区）グラウンド整備工事・旭永橋架換上部（床版工）工事	生徒40人、 教諭4人、 協会10人
	交通安全標語を路線バス社内で放送（旭川建設業協会）	平成25年1月1日～12月31日	路線バス（旭川電気軌道及び道北バス）の車内で当協会近くのバス停停車前に、1日440回の放送を行っている。	バス利用者
	旭川育児院 1ヶ月早いクリスマス（旭川建設業協会）	平成25年11月27日	旭川育児院、忠和地区児童養護施設れんじやくホーム	院児71人、 先生43人、 協会5人
	ボルネオ緑の回廊野生生物レスキューセンター設立プロジェクトを支援する自販機の設置（旭川建設業協会）	年間を通して実施	旭川建設業協会	
	東十勝ロングトレイルモニターツアー及び第17回全道フットバスの集い in 十勝（帯広建設業協会）	平成25年2月2日、3月23日、5月25日～26日、6月29日、10月19日、11月9日	中川郡豊頃町及び十勝郡浦幌町周辺地域	業界20人、 一般292人、 自治体30人
	交通安全グッズを寄贈（帯広建設業協会）	平成25年3月30日	帯広市ほか十勝管内市町村	業界2人、 自治体2人
	帯広市社会福祉協議会等への寄付（帯広建設業協会）	平成25年6月14日	帯広市社会福祉協議会	業界2人、 自治体2人
	土木工事現場見学会（帯広建設業協会）	平成25年9月18日	川西郡中札内村 札内川第二（二期）地区戸蔭第1号配水幹線用水路工事外	業界9人、 一般69人
	建築工事現場見学会（帯広建設業協会）	平成25年10月9日	帯広市大空団地3街区市営住宅全面的改善事業建築主体工事（光2号棟）、現場 帯広市新学校給食調理場建築主体工事その1	業界7人、 一般69人
	第24回まちづくりジュニア現地学習会（帯広建設業協会）	平成25年9月18日	足寄郡陸別町 北海道横断自動車道 利上改良工事外	業界17人、 一般66人
	工藤公康スポーツ講演会「諦めない心」（釧路建設業協会）	平成25年8月4日	中標津町立東小学校体育館	業界20人、 一般228人、 自治体10人
	少年野球教室（釧路建設業協会）	平成25年8月4日、8月5日	中標津町運動公園、釧路市鳥取ドーム	業界20人、 一般180人
青森県	事業所・施工現場周辺の一斉清掃	平成25年7月28日	県内一円	業界1,450人
岩手県	除雪ボランティア（北上市建設業協会）	平成25年2月2日	北上市内	業界150人
	地元小学校の周辺通学路のパトロール（宮古支部女性マネジングスタッフ協議会）	平成25年3月28日	宮古市鎌ヶ崎地区	

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	サッカー大会 絆カップ（遠野支部）	平成 25 年 9 月 14 日～15 日	遠野市総合運動公園	参加総数 600 人
	測量実習・試乗体験（花巻支部）	平成 25 年 10 月 4 日	花巻農業高校環境科学科	業界 30 人、 高校生 41 人
宮城県	献血推進活動	平成 25 年 2 月 26 日～11 月 5 日	県内一円	参加総数 月間 53 人、 年間 411 人
	全国建設青年の日、清掃活動	平成 25 年 7 月 29 日	宮城スタジアム付近の県道等	業界 63 人
福島県	「道の日」道路清掃	平成 25 年 8 月	県内各地	業界・自治体 2,202 人
	第一回親子現場見学会	平成 25 年 7 月 26 日	東北自動車道（栗子トンネル）、とうほう・みんなのスタジアム、措上川ダム	一般 40 人
	ラジオで体験談発信	平成 25 年 7 月 6 日～3 月末まで	ラジオ福島	
	平成 23 年災害対応体験談集「その時、建設業は 緊急出動・対応の記憶」発刊	平成 25 年 5 月		
	平成 23 年災害対応体験談集「その時、建設業は 緊急出動・対応の記憶」発表会	平成 25 年 5 月 14 日	ウェディングエルティ 1 F スクエア（福島市）	業界 100 人、 一般 150 人、 自治体 50 人
	福島工業高校建設現場実習（県北支部）	平成 25 年 7 月 22 日～24 日	県北支部管内企業 3 社	一般 8 人
	福島明成高校建設現場実習（県北支部）	平成 25 年 9 月 2 日～6 日	県北支部管内企業 7 社	一般 20 人
	二本松工業高校建設現場実習（二本松支部）	平成 25 年 9 月 3 日～5 日	二本松支部管内企業 12 社	一般 27 人
	郡山北高校建設現場実習（郡山支部）	平成 25 年 7 月 9 日～11 日	郡山支部管内企業 10 社	一般 39 人
	岩瀬農業高校建設現場実習（須賀川支部）	平成 25 年 9 月 11 日～13 日	須賀川支部管内企業 10 社	一般 35 人
	会津工業高校建設現場実習（若松支部）	平成 25 年 8 月 20 日～22 日	若松支部管内企業 6 社	一般 18 人
	喜多方桐桜高校建設現場実習（喜多方支部、若松支部）	平成 25 年 10 月 28 日～30 日	若松支部、喜多方支部管内企業 13 社	一般 30 人
	会津農林高校建設現場実習（若松支部）	平成 25 年 9 月 17 日～19 日	若松支部管内企業 4 社	一般 10 人
	平工業高校建設現場実習（いわき支部）	平成 25 年 10 月 15 日～18 日	いわき支部管内企業 9 社	一般 25 人
	磐城農業高校建設現場実習（いわき支部）	平成 25 年 9 月 4 日～6 日	いわき支部管内企業 11 社	一般 34 人
勿来工業高校建設現場実習（いわき支部）	平成 25 年 10 月 22 日～24 日	いわき支部管内企業 11 社	一般 36 人	

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	双葉翔陽高校建設現場実習（双葉支部（いわき市内））	平成25年7月31日～8月2日	双葉支部（いわき市内） 会員企業1社	一般3人
	相馬農業高校建設現場実習（相馬支部）	平成25年11月12日～14日	相馬支部管内企業3社	一般8人
	学校法人松韻学園福島高校建設現場実習（県北支部）	平成25年7月29日～31日	県北支部管内企業1社	一般2人
	喜多方桐桜高校建設現場見学会	平成25年6月13日	伊達市、須賀川市	一般39人
	岩瀬農業高校建設現場見学会	平成25年7月4日	伊達郡国見町、河沼郡湯川村	一般40人
	勿来工業高校建設現場見学会	平成25年7月5日	須賀川市、田村市	一般35人
	福島工業高校建設現場見学会	平成25年7月9日	郡山市	一般79人
	福島明成高校建設現場見学会	平成25年7月10日	福島市、河沼郡湯川村	一般42人
	平工業高校建設現場見学会	平成25年7月16日	福島市、いわき市	一般39人
	磐城農業高校建設現場見学会	平成25年7月31日	福島市	一般31人
	会津農林高校建設現場見学会	平成25年8月5日	白河市、本宮市	一般21人
	相馬農業高校建設現場見学会	平成25年8月28日	相馬市、福島市	一般37人
	小野高校建設現場見学会	平成25年9月2日	田村市、福島市	一般12人
	学校法人松韻学園福島高校建設現場見学会	平成25年9月12日	伊達市、伊達郡国見町	一般22人
	郡山北高校建設現場見学会	平成25年9月13日	福島市、郡山市	一般79人
	会津工業高校建設現場見学会	平成25年9月26日	田村市、郡山市	一般77人
	二本松工業高校建設現場見学会	平成25年9月30日	福島市、いわき市	一般39人
栃木県	次世代の建設業を担う人材育成事業	平成24年12月1日～2日	宇都宮工業高等学校	参加総数43人
	次世代の建設業を担う人材育成事業	平成24年12月15、21、25、26、27日	今市工業高等学校	参加総数16人
	次世代の建設業を担う人材育成事業	平成24年12月18日	今市工業高等学校	参加総数15人
	総合学習支援事業	平成24年12月17日	佐野市立吉水小学校グラウンド	参加総数66人
	総合学習支援事業	平成25年2月28日	鹿沼市立柏尾小学校図工室	参加総数440人
	建設業人材育成事業	平成25年9月24日～26日	真岡工業高等学校	参加総数37人
	暴力追放セミナー	平成25年10月21日	宇都宮市護国会館	参加総数110人
	栃木県那須清峰高校生による現場見学事業	平成25年10月22日	栃木県那須地区	参加総数50人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	企業技術者による事業	平成25年11月14日～21日	宇都宮工業高等学校	参加総数20人
	クリーンアップキャンペーン事業	平成25年11月16日	日光市今市・瀬川地区(国道121号及び461号・一般市道瀬川森友線の約9km)	業界36人、一般34人、自治体28人
	土木の日、CCI クリーンアップキャンペーン、愛リバーとちぎ(宇都宮支部)	平成25年11月13日	大通り(JR西口～県庁前、桜通り交差点～県庁前、駅東4号交差点～JR東口、裁判所前公園) 田川筋(幸橋～旭陵橋下流)	業界62人、自治体20人
	川の日、田川クリーンアップ大作戦、愛リバーとちぎ(宇都宮支部)	平成25年7月9日	田川筋(大曾橋～旭陵橋下流) 宮の橋上流右岸公園	業界60人、自治体20人
	愛ロードとちぎ(鹿沼支部)	平成25年5月11日、6月7日、8月9日、10月11日、12月13日	鹿沼環状線(平成橋～宇都宮鹿沼線交差点まで) 歩道のゴミ拾い	業界26人
	防犯活動(鹿沼支部)	平成24年12月13日	ヨークベニマル鹿沼陸店前	
	塩谷支部建設ふれあい事業(塩谷支部)	平成25年11月5日	塩谷町立船生小学校校庭	業界40人、一般170人、自治体4人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成24年12月15日	那須烏山市内(宇都宮那須烏山線及び一般国道294号～神長地区から中央2丁目の間～)	業界33人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成25年3月2日	那須烏山市内(宇都宮那須烏山線及び一般国道294号～神長地区から中央2丁目の間～)	業界34人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成25年4月13日	那須烏山市内(宇都宮那須烏山線及び一般国道294号～神長地区から中央2丁目の間～)	業界31人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成25年7月23日	那須烏山市内(宇都宮那須烏山線及び一般国道294号～山あげ祭りのメイン会場となる市内中心地～)	業界50人、自治体50人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成25年8月1日	那珂川町内(道の駅「ばとう」周辺・一般国道293号～若鮎大橋から那珂川警察署先の間～)	業界34人、自治体24人
	国・県道の空き缶、ゴミ収集及び清掃(鳥山支部)	平成25年10月12日	那須烏山市内(宇都宮那須烏山線及び一般国道294号～神長地区から中央2丁目の間～)	業界34人
	清掃ボランティア(足利支部)	平成25年1月26日	足利織姫神社	業界30人
	花火大会道路クリーン作戦(足利支部)	平成25年7月31日	足利市内の県道市道	業界34人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	足利尊氏公マラソン大会コース清掃（足利支部）	平成25年10月28日	足利市内マラソン大会コース	業界68人、自治体1人
	渡良瀬クリーン運動（足利支部）	平成25年5月12日	田中橋右岸	業界32人
群馬県	第26回道路クリーン作戦	平成25年5月30日	県下一斉（拠点：館林）	業界1,782人、自治体約30人
	伊勢崎市花火大会後の清掃作業（伊勢崎支部）	平成25年9月29日	伊勢崎市西部公園	業界68人、一般80人、自治体20人
	館林・邑楽の川大掃除（館林支部）	平成25年11月19日	館林市、邑楽郡一円の河川及び河川敷、堤防	業界52人、自治体16人
	第59回桐生市掘マラソン大会事前清掃（桐生支部）	平成25年2月10日	桐生市内	業界43人
	第50回桐生八木節祭り後清掃ボランティア（桐生支部）	平成25年8月5日	桐生市内	業界55人
	広域幼稚園・保育園への砂入れボランティア（桐生支部）	平成25年11月6日	桐生市内	業界13人
	まえばし道路フェア2013（前橋支部）	平成25年8月25日	前橋敷島公園バラ園 駐車場	業界50人
	第6回公園クリーン作戦（前橋支部）	平成25年10月22日	前橋公園	業界66人
	平成25年度幼稚園内砂場の砂補充作業（太田支部）	平成25年6月25日、11月12日	太田市内	業界18人
	渋川市総合公園の桜の木の天狗巣病駆除（渋川支部）	平成25年12月7日	渋川市大野	業界15人、自治体2人
埼玉県	春の清掃活動	平成25年5月25日	東松山市松本町～柏崎地内（一般国道407号）道路清掃活動	業界20人、自治体30人
	第10回ふれあい市野川クリーンアップ作戦	平成25年11月9日	吉見百穴前、市野川河川敷	業界30人、一般630人、自治体70人
	あっぱれ！熊谷流「ふるさとの森」第8回植樹祭	平成25年12月7日	熊谷さくら運動公園南側緑地帯広場	業界15人、一般70人、自治体100人
	水と緑のふれあいロード清掃・点検	平成25年11月21日	「騎西領用水」鴻巣市関新田付近～加須市北辻付近	業界26人、自治体20人
	黒目川・秋の川まつり2013（朝霞支部）	平成25年11月16日	朝霞県土整備事務所	業界10人
	新河岸川放水路・びん沼川環境浄化運動（川越支部）	平成25年6月30日	新河岸川放水路・びん沼川	業界200人、一般300人、自治体100人
	道路環境美化作業（北埼玉支部）	平成25年11月28日	国道122号（昭和橋交差点～小須加交差点付近）	業界19人
千葉県	花火大会後の清掃活動（東葛支部）	平成24年8月4日	江戸川河川敷周辺（松戸市）	参加総数60名
	東葛地区水防訓練（東葛支部）	平成25年6月7日	大堀川防災レクリエーション公園周辺（柏市）	会員18社22名
	大津川周辺の除草活動（東葛支部）	平成25年9月7日	大津川の中の橋（柏市）	
	大津川周辺の清掃活動（東葛支部）	平成25年9月13日	大津川周辺（柏市）	会員34社41名

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	県君津土木事務所管内水防訓練 (君津支部)	平成 25 年 5 月 28 日	小糸川河川敷周辺 (後生橋上流右岸側、君津市)	参加総数 20 名
	下洲海岸周辺の清掃活動 (君津支部)	平成 25 年 6 月 24 日	下洲海岸周辺 (富津市)	参加総数 100 名
	県道君津鴨川線の清掃活動 (君津支部)	平成 25 年 10 月 4 日	県道君津鴨川線の君津インターチェンジ周辺 (君津市)	参加総数 89 名
	2 市・1 町での地域貢献活動 (館山支部)	平成 25 年 7 月 10 日	館山市～南房総市周辺	参加総数 250 名
	大多喜街道の清掃活動 (市原支部)	平成 25 年 7 月 18 日	国道 297 号 (大多喜街道) 周辺 (市原市)	参加総数 50 名
	市原市水防訓練 (市原支部)	平成 25 年 7 月 7 日	養老川河川敷周辺 (市原市岩崎)	参加総数 600 名
	市原市・川を美しくする会 (市原支部)	平成 25 年 6 月 3 日	養老川河川敷周辺 (市原市五井)	参加総数 30 名
	夷隅地区の水防訓練 (いすみ支部)	平成 25 年 7 月 11 日	夷隅川河口部右岸 (いすみ市岬町)	
	九十九里浜一帯の清掃活動 (山武支部)	平成 25 年 6 月 13 日	九十九里浜周辺 (横芝光町屋形海岸～九十九里浜片貝海岸)	参加総数 160 名
	成東小学校の清掃活動 (山武支部)	平成 25 年 8 月 31 日	成東小学校 (山武市)	
	前原海岸の清掃活動 (鴨川支部)	平成 25 年 7 月 10 日	前原海岸周辺 (鴨川市)	参加総数 40 名
	小見川地区の除草活動 (香取支部)	平成 25 年 7 月 10 日	小見川地区周辺 (香取市)	会員 9 社
	匝瑳市ゴミゼロ運動 (八日市場支部)	平成 25 年 5 月 26 日	匝瑳市一円	会員 12 社
	海匠土木事務所管内水防合同訓練 (八日市場支部)	平成 25 年 7 月 18 日	横芝光インター出口周辺 (横芝光町)	参加総数 57 名
	北総支部管内清掃活動 (北総支部)	平成 25 年 6 月 26 日	北総支部管内 (成田市、佐倉市、印西市等)	会員 34 社 50 名
	銚子地区水防訓練 (銚子支部)	平成 25 年 7 月 11 日	唐子町公園 (銚子市)	
	名洗港周辺の清掃活動 (銚子支部)	平成 25 年 10 月 1 日	名洗港 (銚子マリナー海水浴場) 周辺 (銚子市)	参加総数 23 名
	矢指ヶ浦海水浴場等の海岸清掃活動 (旭市建設業災害対策協力会)	平成 25 年 7 月 7 日	矢指ヶ浦海水浴場周辺 (旭市)	会員 32 社 約 100 名
	作田川周辺の除草活動 (山武建設合同会)	平成 25 年 6 月 9 日	作田川周辺 (山武市成東)	参加総数 30 名
	小中学校の清掃活動 (山武市建設業災害対策協力会)	平成 25 年 10 月 12 日	松尾中学校、豊岡小学校 (山武市)	参加総数 24 名
	白里海岸の清掃活動 (大綱白里市建設業協会)	平成 25 年 6 月 27 日	白里海岸周辺 (大綱白里市)	参加総数 236 名
	クリーン船橋 530 (ゴミゼロ) の日 (船橋建設業協同組合)	平成 25 年 5 月 26 日	北習志野近隣公園周辺 (船橋市)	参加総数 約 52,000 名
東京	まちづくり展 2013～東京をつくる・まもる・建設業～	平成 25 年 9 月 25 日～27 日	新宿駅西口広場イベントコーナー	業界 2,000 人、一般 9,600 人、自治体 400 人、参加総数 12,000 人
新潟県	土木の日記念フェスティバル (新発田支部)	平成 25 年 11 月 23 日		一般 1,000 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	土木の日 体験学習(新津支部)	平成25年10月3日		小学生35人、 会員17人、 自治体4人
	新潟支部、新潟市建設業協会「合同講演会」(新潟支部)	平成25年9月2日		会員220人
	クリーンアップ作戦(落ち葉拾い)(新潟支部)	平成24年12月1日	けやき通り	34人
	ほくりく水土里プロジェクト(巻支部)	平成25年11月3日	西蒲原土地改良区管轄地内	会員35人、 一般参加者約180人
	クリーン作戦(津川支部)	平成25年5月2日	阿賀町津川地内	24人
	つがわの狐の嫁入り行列開催に伴う水上ステージ設置(津川支部)	平成25年5月2日~4日		観光客10,000人
	環境美化運動(三条支部)	平成25年5月12日	田上町地内の国・県道	業界10人、 一般110人
	スポーツゴミ拾い大会 in 三条(三条支部)	平成25年6月9日	燕三条駅周辺の協議エリア	業界4人、 一般約80人
	土木フェスティバル(長岡支部)	平成25年10月6日	国営越後丘陵公園	一般来場者 9,491人
	親しもう!ふれ合おう!建設業!(与板支部)	平成25年11月3日	長岡市みしま会館	会員12人
	十日町雪まつり雪上カーニバル舞台制作(十日町支部)	平成25年1月21日~2月25日	城ヶ丘ピュアランド	会員31人、 一般来場者約30,000人
	産業フェスタ どぼくの日(十日町支部)	平成25年10月19日~20日	越後妻有交流館キナーレ	会員31人、 一般来場者約10,500人
	地域貢献広報活動(六日町支部)	①平成25年9月26日②9月25日	①南魚沼市②湯沢町	会員2人
	魚野川河川敷 草刈・清掃(六日町支部)	平成25年7月25日	魚野川河川敷	会員30人
	八色の森市民まつり「土木フェア」(六日町支部)	平成25年10月13日	八色の森公園	会員18人
	かしかり虹まつり「土木PR事業」(柏崎支部)	平成25年10月26日~27日		一般参加者 13,400人
	ぎおん柏崎まつり「海の大花火大会」花火打上げ事業(柏崎支部)	平成25年7月26日		
	海岸ポイ捨て禁止啓蒙看板設置及び海岸清掃(柏崎支部)	平成25年6月28日		業界50人
	大島駅伝大会運営ボランティア(安塚支部)	平成25年7月14日	大島区大平地内	業界10人
	牧っこ秋まつり 運営ボランティア(安塚支部)	平成25年11月3日	牧区公民館前広場	業界7人
	うらスポ10' マラソン大会(安塚支部)	平成25年6月16日	浦川原区内	業界11人
	万内川砂防公園 サマーフェスティバル(上越支部)	平成25年8月11日		一般2,100人
	海岸清掃(糸魚川支部)	平成25年7月3日	押上海岸、大和川海岸	業界21人、 一般35人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	日本海クラシックカーレビュー (糸魚川支部)	平成 25 年 9 月 7 日～8 日		業界 7 人、 一般参加者約 20,000 人
	桜の害虫駆除対策(糸魚川支部)	平成 25 年 3 月 15 日	美山公園	業界 21 人、 一般 18 人
	まちづくりと土木・建設フェア (糸魚川支部)	平成 25 年 10 月 5 日	糸魚川支部	業界 24 人、 自治体 12 人、 一般 554 人
	佐渡整備振興会支援事業(佐渡 支部)			
	一日美化デー(佐渡支部)	平成 25 年 7 月 31 日	真野地区、羽茂地区海岸	業界 5 人、 一般 41 人
	佐渡市スポーツ振興財団(佐渡 支部)	通年		
長野県	クリーンキャンペーン(南佐久 支部)	平成 25 年 10 月 19 日	国道 141 号南佐久郡南牧 村海ノ口～佐久市臼田伊 勢宮	業界 26 人
	秋季河川一斉パトロール(佐久 支部)	平成 25 年 10 月 24 日	南北佐久郡の河川	業界 11 人、 参加総数 54 人
	丸子修学館高等学校生徒の丁張 実習技術指導(上小支部)	平成 25 年 5 月 21 日	丸子修学館高等学校	業界 19 人、 生徒 39 人、 参加総数 58 人
	上田千曲高等学校建築科生徒の 建設工事現場見学会(上小支部)	平成 25 年 5 月 14 日	・東御市海野宿滞在型交 流施設建設現場 ・上田市交流・文化施設 建設現場	業界 13 人、 生徒 31 人、 教師 2 人、 参加総数 46 人
	自主パトロール(上小支部)	平成 25 年 9 月 25 日	①長野県連合青果(株) 倉庫新築工事(上田市秋 和) ②平成 24 年度予防治山 事業第 18 号工事(上田市 大明神) ③上田市消防団長分団詰 所新築工事(上田市真田 町長) ④平成 24 年度社会資本 整備総合交付金(地域連 携)工事(上田市中丸子 (2)) ⑤平成 24 年度社会資本 整備総合交付金(地域連 携)工事(上田市中丸子 (3)) ⑥上田市消防団武石東部 分団拠点施設整備工事 (上田市下武石)	業界 9 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	丸子修学館高等学校生徒の企業研修（上小支部）	平成25年10月23日	現場1 平成24年度地域自主戦略交付金（街路）工事 現場2 平成25年度防災・安全交付金（修繕）橋梁維持工事 現場3 道路整備交付金丸子小牧線トンネル工事 現場4 天神護岸その4工事 現場5 社会資本整備総合交付金道路舗装工事 現場6 上田市文化・交流施設建設建築主体工事 現場7 上田市消防団長分団詰所新築工事 現場8 上田市消防団武石東部分団拠点施設新築工事 現場9 和地区保育園建築主体工事 現場10 連合青果（株）倉庫新築他住宅工事	業界14人、生徒24人
	第18回建設旗争奪「上小中学校1年生野球大会」（上小支部）	平成25年11月2日～11月3日	東御市中央グラウンド 東御市立東部中学校	業界10人、生徒350人、教師・一般200人
	道路・歩道清掃活動（諏訪支部）	平成25年4月18日	長野県茅野市内一帯	業界125人
	献血奉仕活動（諏訪支部）	平成25年6月13日、18日、20日	長野県赤十字献血センター 一諏訪出張所	業界37人
	諏訪湖アダプトプログラム活動（諏訪支部）	平成25年6月29日	諏訪湖岸	業界8人
	諏訪湖アダプトプログラム活動（諏訪支部）	平成25年8月30日	諏訪湖岸	業界9人
	高校生による建設作業体験学習（諏訪湖のヒシ除去作業）（諏訪支部）	平成25年9月13日	諏訪湖（諏訪郡 下諏訪町 高浜地籍沖）	業界2人、高校生5人、自治体3人
	道路、歩道の清掃（諏訪支部）	平成25年9月17日	岡谷市 間下区	業界15人、一般5人
	小学校児童による砂防堰堤工事現場見学会（諏訪支部）	平成25年6月12日、11月12日、12月6日	諏訪市大字四賀桑原	業界15人、一般232人、自治体10人
	道路クリーン作戦（伊那支部）	平成25年6月14日	上伊那管内全域	業界295人、自治体89人
	田沢川河川清掃、国道153号道路清掃（伊那支部）	平成25年7月26日	駒ヶ根市 田沢川 田の坂付近及び国道153号伊南バイパス	業界59人、自治体13人
	建設系学科高校生等の大型重機操作実習（伊那支部）	平成25年11月11日	上伊那郡南箕輪村上伊那農業高等学校付近原牧場	業界2人、高校生22人、自治体2人
	献血事業（飯田支部）	平成25年6月28日、11月8日	飯田建設会館 下條村村民センター	参加総数164人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	飯田 OIDE 長姫高校 現場見学会 (飯田支部)	平成 25 年 11 月 14 日	・小道木バイパス (1 号線) ・小道木バイパス (2 号トンネル) ・飯田商工会館新築工事 (RC 造) ・飯田市庁舎建設工事 (RC 造)	業界 2 人、 一般 73 人、 自治体 3 人
	長野県管理道路方面清掃ボランティア (木曾支部)	平成 25 年 8 月 27 日	北部：県道木曾福島 (T) 線 木曾町塩渕 南部：国道 256 号	業界 32 人
	伊那・木曾連絡道路沿線美化活動 (木曾支部)	平成 25 年 10 月 4 日	国道 361 号 木曾町 19 号支点から塩尻市権兵衛トンネル木曾側抗口	業界 18 人、 一般 2 人、 自治体 34 人
	平成 25 年度春季ふれあい献血活動 (松筑支部)	平成 25 年 5 月 17 日	(株)松筑建設会館	業界 118 人
	道路クリーンキャンペーン活動 (松筑支部)	平成 25 年 7 月 25 日	主要地方道路 松本環状高家線 松本市芳川付近 1.2 km の両側	業界 61 人、 自治体 13 人
	平成 25 年度秋季ふれあい献血活動 (松筑支部)	平成 25 年 11 月 17 日	(株)松筑建設会館	業界 103 人、 一般 2 人
	クリーンアップ安曇野 (安曇野支部)	平成 25 年 6 月 24 日	安曇野市堀金、国営公園入り口 600m 間	業界 35 人、 自治体 19 人
	クリーンアップ安曇野 (安曇野支部)	平成 25 年 8 月 1 日	安曇野市内 4 現場	業界 3 人、 高校生・先生 43 人、 自治体 4 人
	クリーンアップ安曇野 (安曇野支部)	平成 25 年 9 月 3 日	南安曇野農業高校校庭	業界 5 人、 高校生・先生 23 人、 自治体 3 人
	クリーンアップ安曇野 (安曇野支部)	平成 25 年 10 月 15 日	安曇野市堀金	業界 4 人、 高校生・先生 23 人、 自治体 2 人
	道路河川の草刈ボランティア (大北支部)	平成 25 年 7 月 3 日	国道 148 号、県道 2 路線、一級河川農具川 1.9 km	業界 59 人、 自治体 14 人
	高校生の現場見学会 (大北支部)	平成 25 年 6 月 17 日	北安曇野郡池田町八幡神社改築工事現場	業界 5 人、 高校生 17 人
	一級河川乳川のアレチウリの駆除 (大北支部)	平成 25 年 9 月 5 日	一級河川乳川の活動登録区間 2 km のうち、重点活動区間約 500 m	業界 37 人、 自治体 8 人
	「千曲市第 7 回みんなで育てる協働の森づくり (植樹作業) 第 7 回みんなで育てる協働の森づくり千曲市育樹祭 (育樹作業) 「大池市民の森感謝祭」 (更埴支部)	平成 25 年 5 月 11 日、10 月 12 日	千曲市八幡 大池市民の森	業界 20 人
	平成 25 年度 管内主要道路清掃事業 (須坂支部)	平成 25 年 4 月 24 日	国道 406 号線	業界 24 社、 自治体 11 人
	信州ふるさとふれあい事業 (アダプトシステム) (中高支部)	平成 25 年 4 月～11 月	中野市七瀬地区国道 403 号線	業界 738 人、 一般 32 人、 自治体 64 人
	高校生現場見学会 (中高支部)	平成 25 年 7 月 12 日	中野市、山ノ内町	業界 11 人、 一般 11 人、 自治体 1 人
	高校生現場見学会 (中高支部)	平成 25 年 10 月 18 日	中野市内	業界 4 人、 一般 17 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	第17回「建設で献血だ！」(長野支部)	平成25年4月3日	長水建設会館	業界73人
	春のゴミゼロ運動(長野支部)	平成25年5月27日	裾花川左岸 長野保健所 ～裾花橋	業界30人
	建設業 美化事業ボランティア(長野支部)	平成25年6月17日	支部管内 県道・市町村道28ヶ所	業界28社
	環境美化事業(長野支部)	平成25年6月28日	裾花川河川敷	業界9人
	第8回けんせつ杯中学生軟式野球大会(長野支部)	平成25年10月5日・6日	長野信金グラウンド、邦友グラウンド、青垣公園グラウンド 豊野東山第一運動場 豊野東山第二運動場	業界12人、一般約700人
	秋のゴミゼロ運動(長野支部)	平成25年10月18日	裾花川左岸 長野保健所 ～裾花橋	業界30人
	第18回「建設で献血だ！」(長野支部)	平成25年11月5日	長水建設会館	業界64人
	平成25年度フラワーロード事業(飯山支部)	平成25年6月10日、7月16日、7月31日、8月9日、8月26日	国道117号線沿いバイパス	業界40人、一般1400人、自治体100人
	高校生の現場見学会(飯山支部)	平成25年6月17日、9月3日	・野沢温泉アリーナプール棟跡地整備工事 ・新幹線飯山駅都市施設整備及び駅舎都市施設工事 ・市道1-561号外整備事業及び立石住宅地造成工事	業界10人、高校生30人、各機関10人
静岡県	「道の日」道路美化活動への参加	平成25年8月9日	静岡市役所周辺の道路清掃	業界48社160人、一般及び自治体約1,140人
	「第11回安倍川流木クリーンまつり」	平成25年11月17日	一級河川安倍川河川敷内(静岡市内)	会員企業32社130人、一般及び自治体1,170人
	大井川「平成の大改修」工事現場見学会(静岡建設業協会)	平成25年7月11日	大井川「平成の大改修」工事現場(島田市内)	業界6人、一般44人
	献血活動(S51年度より実施)(静岡建設業協会)	平成25年6月19日、11月8日	静岡建設業協会の駐車場(献血バス)	業界147人
	建設系高校生を対象としたインターンシップ事業(静岡建設業協会)	平成25年7月29日から3日間(県立科学技術高校)、8月27日から4日間(県立静岡農業高校)	静岡建設業協会会員企業事業所及び工事現場	業界19人、一般35人
	河川清掃活動(静岡建設業協会)	平成25年6月5日	二級河川「巴川」堤防のり面(静岡市内)	会員企業50社約90人、自治体5人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	環境美化活動 稚アユ放流事業 (静岡建設業協会)	平成 25 年 5 月 11 日	一級河川 藁科川(静岡市 内)	業界 35 人、 一般 80 人、 自治体 30 人
	道路クリーン作戦(下田建設業 協会)	平成 25 年 8 月 23 日	下田市内、賀茂郡内の主 要幹線道路	業界 35 社 121 人
	下田地区一斉美化活動等(下田 建設業協会)	平成 25 年 9 月 27 日	下田市内、賀茂郡内の国 県市町の道路	業界 35 社 117 人
	平成 25 年度「河川愛護月間」奉 仕活動(富士建設業協会)	平成 25 年 7 月 23 日	富士市内・富士宮市内	業界 69 人
	平成 25 年度「道路ふれあい月 間」奉仕活動(富士建設業協会)	平成 25 年 8 月 9 日	富士市内・富士宮市内	業界 70 人
	平成 25 年度 親子現場見学会 (富士建設業協会)	平成 25 年 8 月 22 日	富士山大沢扇状地	業界 8 人、 一般 35 人
	高校生インターンシップ受入 (島田建設業協会)	平成 25 年 7 月 29 日～31 日	島田建設業協会会員企業 4 社	業界 4 社、 一般 10 人、 参加総数 14 人
	道路愛護運動(袋井建設業協会)	平成 25 年 8 月 2 日～8 月 22 日	袋井建設業協会管内の県 道、市町村道	業界 229 人
	河川美化運動(袋井建設業協会)	平成 25 年 7 月 19 日～8 月 5 日	袋井建設業協会管内の河 川	業界 182 人
	親子現場見学会(袋井建設業協 会)	平成 25 年 8 月 21 日	磐南浄化センター(磐田 市)	一般 38 人
	協会員による献血運動(袋井建 設業協会)	平成 25 年 9 月 10 日	袋井建設業協会	業界 52 人、 一般 4 人、 自治体 5 人
	道路河川等 除草・清掃(浜松 建設業協会)	平成 25 年 8 月 9 日	浜松市内道路・河川 細江浜北線、権現谷川、 馬込川、安間川、中ノ島 (弁天島)	業界 86 人
	静岡県西遠地区合同訓練(浜松 建設業協会)	平成 25 年 11 月 6 日	浜松市役所(図上訓練)・ 浜松市初生町(実働訓 練:旧県企業局西遠支所 跡地)	業界 32 人、 自治体 48 人
	道路愛護・道路環境美化活動(天 竜建設業協会)	平成 25 年 8 月 3 日、27 日	浜松市天竜区内の主な 国・県道沿線	業界 60 人
	親子現場見学会(天竜建設業協 会)	平成 25 年 8 月 6 日	愛知県豊川市内 新東名 高速道路工事(豊川橋・ 乗本トンネル)	業界 3 人、 一般 35 人
	親子現場見学会(三島建設業協 会)	平成 25 年 8 月 24 日	横浜市鶴ヶ峰浄水場	業界 2 人、 一般 82 人
	高校生インターンシップ受入 (三島建設業協会)	平成 25 年 8 月 20 日～23 日	三島建設業協会会員企業 10 社	業界 11 社、 一般 37 人、 参加総数 48 人
	親子現場見学会(沼津建設業協 会)	平成 25 年 8 月 23 日	東駿河湾環状道路、三島 大吊橋	業界 17 人、 一般 80 人
	高校生インターンシップ受入 (沼津建設業協会)	平成 25 年 11 月 7 日～8 日	沼津建設業協会会員企業 事業所及び工事現場	業界 24 社、 一般 77 人、 参加総数 101 人
	献血の実施(沼津建設業協会)	平成 25 年 3 月 6 日、7 月 18 日	3 月・沼津市役所玄関前 7 月・沼津建設業協会駐車 場	業界 49 人、 一般 70 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	広報誌の発行(沼津建設業協会)	平成25年1、4、7、10月1日		業界63社、一般及び自治体300人、参加総数約400人
愛知県	「あったらいいな!!土のうで浸水から守ろう」運動	平成24年12月13日、平成25年3月14日、10月11日、11月14日	名古屋市・県立守山高校、渥美農業高校、春日井高等養護学校、古知野高校	業界125人、高校生740人、自治体8人
	ライフガードTEC2013に出展	平成25年5月24日~25日	名古屋ポートメッセ	参加総数17,000人
	防災教室「土のう体験」	平成25年9月7日	名古屋市港防災センター	業界5人、一般親子15組30人、自治体2人
	名古屋青年会議所 JC フェスティバル	平成25年11月17日	名古屋市中区久屋大通り公園	一般900人
三重県	氏郷まつり	平成25年11月3日	松阪市内	業界10人
	愛宕川・神道川一斉清掃デー	平成25年9月1日	松阪市内	業界10人
	河川愛護月間に伴う員弁川河川清掃(桑員支部)	平成25年7月19日	松阪市内	業界65人
	道路美化ボランティア活動(伊賀支部)	平成25年9月12日	伊賀市、名張市、管内一円	業界55人
	道路他美化ボランティア活動(四日市支部)	平成25年9月12日	四日市市、菰野町	業界75人、一般5人、自治体10人
	白塚地区海岸美化清掃(津支部)	平成25年7月20日	白塚地区海岸	業界31人、一般100人
	ふれあいの道事業(鈴鹿支部)	平成25年6月7日、9月6日、11月8日	鈴鹿環状線(中央道路)1.2km	業界32人
	土のう作成と保管場所の一斉点検作業(鈴鹿支部)	平成25年7月1日	鈴鹿市防災センター	業界70人、自治体50人
	ふれあいの道清掃奉仕作業(亀山支部)	平成25年7月26日、9月27日、12月19日	亀山支内	業界33人
	第1回道路清掃美化ボランティア活動 第2回道路清掃美化ボランティア活動(一志支部)	平成25年7月10日 平成25年10月16日	第1回 県道松阪青山線 津市美杉町八手俣地区 第2回 県道白山小津線 津市白山町関ノ宮~津市一志町波瀬地区	業界36人
	第1回清掃美化ボランティア活動(志摩支部)	平成25年9月28日	一般国道260号	業界17人
	第2回清掃美化ボランティア活動(志摩支部)	平成25年11月9日	一般国道260号(大王公民館~長田小公園)	業界14人
	勢田川七夕大そうじ(伊勢支部)	平成25年7月7日	伊勢市内の勢田川河川沿岸	会員企業8社、参加総数2,500人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	五十鈴川河川清掃奉仕活動（伊勢支部）	平成25年12月6日	伊勢市宇治地区の河川敷 駐車場一体	業界80人、 一般10人、 自治体60人
	尾鷲港湾内一斉清掃活動（尾鷲支部）	平成25年7月26日	尾鷲港湾内 清掃活動、 ゴミの分別収集活動	業界26人
	呼崎海岸清掃（尾鷲支部）	平成25年6月25日	呼崎海岸	業界30人
	県道の清掃（尾鷲支部）	平成25年7月12日		業界28人
	地元行事「きほく七夕物語」の 作業協力（尾鷲支部）	平成25年7月6日・7日	紀北町海山区便ノ山 銚子川護岸	業界19人 一般40人
富山県	「全国建設青年の日事業」合同 開催	平成25年7月～		
	海の駅魚津周辺道路等清掃活動 （魚津支部）	平成25年7月20日	魚津市	青年部21名
	高岡古城公園清掃活動（高岡支 部）	平成25年7月25日	高岡市	青年部他200名
	若手経営者向け講習会『富山の 活断層と地震・津波』（砺波支 部）	平成25年7月29日	砺波市	青年部23名
	朝日町ヒスイ海岸清掃（入善支 部）	平成25年7月31日	朝日町	青年部14名、 土木事務所8名
	大岩川親水公園の草刈り、清掃、 稚魚放流等（立山支部）	平成25年7月31日	上市町	青年部27名、 児童22名
	道の駅「メルヘンおやべ」周辺 の県道及び市道の清掃活動（小 矢部支部）	平成25年7月31日	小矢部市	青年部28名、 小矢部市3名、 土木事務所6名
	松田江浜海岸清掃（氷見支部）	平成25年8月2日	氷見市	青年部等40名
	海岸環境整備（草刈、集草、運 搬）（富山支部）	平成25年9月7日	富山市	青年部他67名
石川県	「全国建設青年の日」のPR活動 として開催	平成25年10月13日	石川県金沢市	業界16人、 一般250人
	保育園児とのふれあい活動（加 賀建設業協会）	平成25年5月23日	加賀市打越町 清心保育 園	業界24人、 一般111人
	こまつ水辺クリーンデー（小松 能美建設業協会）	平成25年3月31日	小松市内 木場潟・梯 川・前川・八丁川・鍋谷 川沿川	業界200人、 一般2200人、 自治体200人
	はたらくくるまがやってくる （小松能美建設業協会）	平成25年5月3日	小松市役所駅前通り 小 松市公会堂～京町交差点	参加総数1000 人
	クリーンビーチいしかわ in こ まつ（小松能美建設業協会）	平成25年6月23日	小松市安宅海岸左岸、梯 川河口付近	業界100人、 一般2800人、 自治体100人、
	梯川ゴミ拾い（小松能美建設業 協会）	平成25年9月14日	梯川沿川	業界200人、 一般900人、 自治体100人
	木場潟ヨシ刈りボランティア （小松能美建設業協会）	平成25年11月17日	小松能美建設業協会	業界15人
	献血奉仕活動（小松能美建設業 協会）	平成25年11月26日	小松能美建設業協会	業界70人
	標高差2702mのクリーン大作戦 （白山・石川建設業協会）	平成25年5月26日～8 月20日	松任徳光海岸、松任海岸、 管内道路、白山	業界616人、 一般8人、 自治体60人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	公共土木施設等マネジメント協定(石川土木総合事務所と締結) 白山市道維持管理協定(白山市と締結)に基づく道路パトロール(白山・石川建設業協会)	平成25年8月30日	白山市道・及び県道	業界25人
	献血活動(羽昨都市建設業協会)	平成25年2月26日	羽昨市内	参加人数49人
	まちなか協働パトロール(金沢建設業協会)	平成25年4月10日	石川県建設総合センター、市内一円	業界約87人、自治体1人
	東日本大震災による被災地でのボランティア活動(金沢建設業協会)	平成25年4月25日~27日	宮城県亘理郡山元町	業界43人
	緑化推進事業(金沢建設業協会)	平成25年11月13日	金沢市広坂1丁目、本町2丁目	業界25人、一般10人、自治体3人
	道路ふれあい月間(河北都市土建協同組合)	平成25年8月6日	津幡警察署、かほく市、津幡町、内灘町、河北郡市土建協同組合	業界39人、自治体44人
	献血活動(珠洲建設協会)	平成25年7月29日	珠洲商工会議所	業界81人、一般31人
福井県	県道鯖江・美山線 足羽川左岸清掃活動 鷹巣・鮎川海水浴場清掃活動 九頭竜川河川敷清掃活動 足羽川河川敷清掃活動 九頭竜川河川敷清掃活動(福井地区建設業会)	平成25年7月~8月	足羽川河川敷 九頭竜川河川敷 鷹巣・鮎川海水浴場	業界319人
	平成25年度「道守」活動事業(坂井郡建設業協会)	平成25年7月19日	福井県坂井地域旧6町内 県道沿い	業界94人、自治体約20人、参加総数約120人
	道路・河川等清掃奉仕活動(若狭地区建設業会)	平成25年11月18日	福井県小浜市木崎~遠敷1丁目 約1,520m 多田~和久里 約640m	業界50人
滋賀県	交通遺児及びその家族に対し寄付	平成25年11月13日	滋賀県大津市	業界69人
	道路清掃活動(滋賀県建設青年会議)	平成25年6月6日、9月5日	滋賀県建設会館から近江大橋までと浜大津まで(県道18号の歩道2.7km)	業界53人
	大津市夏期火災・防災訓練(大津支部)	平成25年7月28日	大津市仰木二丁目地先 天社門付近一帯	大津支部より5人
	大津支部社会貢献活動(大津支部)	平成25年8月24日	大津市由美浜「琵琶湖畔サンシャインビーチ」(相模川~近江大橋)	業界33人
	大津市学区対抗ビーチバレーボール大会(大津支部)	平成25年7月21日	大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチ	参加300人
	(大津市)琵琶湖を美しくする運動一斉清掃(大津支部)	平成25年7月7日	大津市内全域(琵琶湖、湖岸、河川、道路、公園等の公共的な場所)	会員企業38社、一般・自治体70,929人
	甲賀地域水防訓練(甲賀支部)	平成25年5月26日	野洲川新水公園	業界18人
	甲賀市総合防災訓練(甲賀支部)	平成25年11月16日	甲賀市かふか生涯学習館とその周辺	
	甲賀地域「勤務時間内」大規模地震発生時の初動活動訓練(甲賀支部)	平成24年11月29日	甲賀市甲賀町小佐治地先	業界38人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	植樹事業（東近江支部）	平成 25 年 9 月 30 日	東近江市立船岡中学校	業界 6 人
	平成 25 年度「びわ湖の日」環境美化活動（彦根支部）	平成 25 年 6 月 23 日	彦根市犬上川兩岸	業界 30 人、 参加総数 2,300 人
	平成 25 年度多賀町防災訓練活動実施（彦根支部）	平成 25 年 10 月 13 日	多賀町多賀 多賀大社御旅所 尼子グランド	業界 10 人、 参加総数 180 人
	びわ湖岸清掃（長浜支部）	平成 25 年 10 月 8 日	長浜市田村町地先～高橋町地先	業界 58 人
	清掃活動（琵琶湖周道路沿いゴミ拾い）（伊香支部）	平成 25 年 8 月 20 日	長浜市木之本町飯ノ浦	業界 15 人
京都府	親子でまなぶ京都の建設・土木	平成 25 年 12 月 7 日	丹波綾部道路須知第 2 トンネル工事現場	業界 20 人、 一般 160 人
兵庫県	第 7 回建設ふれあいまつり	平成 25 年 7 月 28 日	建設協会会館及び隣接広場	業界 55 人、 一般 500 人
	平成 25 年度全県一斉奉仕作業	平成 25 年 6 月 1 日～8 月 29 日	県内各地	業界 1,662 人
	子ども建設業体験学園	平成 25 年 10 月 5 日	洲本市立東浦中学校	業界 15 人、 一般 26 人
	第 38 回にしのみや市民祭りブース出展	平成 25 年 10 月 26 日	西宮市役所周辺	一般 2,000 人
	高所作業車から満開のコスモスを見よう！！	平成 25 年 11 月 9 日	尼崎武庫川河川敷「髭の渡しコスモス園」	業界 18 人、 一般 4,000 人
	地域安全まちづくり活動の推進	通年	県下各地域	業界 547 社
奈良県	平成 25 年度奈良県防災総合訓練	平成 25 年 8 月 31 日	心の森総合福祉公園	業界約 30 人、 一般約 160 人、 自治体約 60 人、 参加総数約 1,200 人
	献血活動（奈良県建設業協会青年部会）	平成 25 年 8 月 3 日	(株)ゴセケン、奈良県赤十字血液センター、近鉄奈良駅ビル献血ルーム	業界 73 人
鳥取県	河川清掃（日野建設業協会）	平成 25 年 9 月 13 日	日野管内の日野川流域（支川含む）	業界 150 人
	第 30 回全国都市緑花フェアの連携イベントとして花壇清掃（東部建設業協会）	平成 25 年 9 月 13 日	鳥取市南隈 交差点付近	業界 20 人
	道路の美化清掃活動ボランティア・ロードコスモス（中部建設業協会）	平成 25 年 6 月 4 日、9 月 21 日	琴浦町「道の駅ポート赤碕」、北栄町「道の駅大栄」	①業界 43 人 ②業界 41 人
	天神川流域の魚類の維持増殖に向けた放流活動（中部建設業協会）	平成 25 年 2 月 28 日、3 月 10 日、4 月 14 日、5 月 2 日	一級河川天神川流域の河川敷数カ所	業界 33 人、 漁協 38 人、 自治体 35 人
	地域住民の「魚とのふれあい」活動（中部建設業協会）	平成 25 年 8 月 11 日	倉吉市内の天神川竹田橋下付近	業界・漁協 15 人 一般 120 人、 参加総数 150 人
	環境月間 韓国南ソウル大学の学生と共同で海岸清掃（中部建設業協会）	平成 25 年 6 月 29 日	東伯郡琴浦町赤碕地内の海岸	業界 8 人、 学生 20 人、 自治体等 32 人
	住民参画の河川清掃（中部建設業協会）	平成 25 年 9 月 29 日	倉吉市内の絵下谷川	業界 10 人、 一般 60 人、 自治体 30 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
島根県	平成 25 年度ボランティア活動 (八頭建設業協会)	平成 25 年 6 月 19 日	八頭郡智頭町毛谷「どう だん公園」	業界 39 人、 自治体 4 人
	第 14 回ふるさとまるごとク リーンアップ作戦	平成 25 年 8 月 1 日 他 5 日	松江市袖師、嫁島地下道、 歩道夕日スポット護岸周 辺道路等	業界 180 人、 自治体 60 人
	高校生現場見学会	平成 24 年 10 月～11 月の 6 日間	〈松江国道事務所〉山陰 自動車道朝山・大田道路 波根川橋下部工事/波根 地区改良工事現場等	業界 12 人、 一般 189 人
	平成 25 年度ふるさとまるごと クリーンアップ作戦 (松江地区 建設業協会)	平成 25 年 10 月 2 日	国道 9 号袖師～宍道湖ボ ウル間	業界 26 人、 西保証 1 人、 自治体 41 人
	ざいごフェスティバル (松江地 区建設業協会)	平成 25 年 10 月 13 日	松江市東出雲町 (錦浜ふ れあい広場)	業界 16 人、 自治体 41 人
	道の日清掃活動 (雲南建設業協 会)	平成 25 年 8 月 7 日	歩道清掃 (植樹帯の草抜 き、ゴミ拾い)	業界 15 人、 自治体 30 人
	「海岸愛護月間」における海岸 清掃活動 (益田建設業協会)	平成 25 年 7 月 17 日	益田港海岸	業界 20 人
	清流高津川一斉清掃 (益田建設 業協会)	平成 25 年 10 月 27 日	益田市高津町 (高津川飯 田河川敷周辺)	業界 40 人
	歳末特別警戒出動式 (益田建設 業協会)	平成 25 年 11 月 27 日	益田警察署 大会議室	業界 2 人
隠岐の島ウルトラマラソン (島 を一周する 100 キロマラソン) (隠岐地区建設業協会)	平成 25 年 6 月 12 日、6 月 15 日～17 日	①草刈り：街部付近の臨 港道路や県道沿い②仮設 トイレ設置：島一円③土 のう設置：ランナー休憩 所とゴール	①協会 3 人、 県職員 30 人 ②6 社 ③1 社	
岡山県	新規学卒者等合同面接会への参 加	平成 25 年 11 月 20 日、27 日	岡山市、津山市	業界約 320 社、 一般約 800 人、 参加総数約 1,500 人
	防災訓練への参加	平成 25 年 11 月 13 日	岡山 (本部)、新見支部、 真庭支部	業界 6 人
	防疫訓練の実施	平成 25 年 11 月 21 日	岡山市内	業界 27 人、 自治体 5 人
山口県	国道 437 号線法面清掃 (大島支 部)	平成 25 年 5 月 31 日		24 人
	環境美化活動 (道路清掃) (柳井 支部)	平成 25 年 8 月 8 日		32 人
	河川環境美化活動 (玖珂支部)	平成 25 年 6 月 24 日		27 人
	末武川河川清掃 (周南支部)	平成 25 年 7 月 7 日		18 人
	道路環境美化活動 (周南支部)	平成 25 年 7 月 21 日		101 人
	天然記念物ツウのネグラの整備 (周南支部)	平成 25 年 10 月 5 日		18 人
	防府環境美化推進活動 (防府支 部)	平成 25 年 12 月 11 日		115 人
	公共施設クリーンアップ作戦 (山口支部)	平成 25 年 7 月 11 日		265 人
	公共施設クリーンアップ作戦 (宇部支部)	平成 25 年 8 月 9 日		147 人
	「道の日」公共施設クリーンア ップ作戦 (下関支部)	平成 25 年 8 月 9 日		54 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	粟野川河川公園クリーンアップ 作戦（豊田支部）	平成 25 年 7 月 3 日		18 人
	河川愛護月間行事（田部川）（豊 田支部）	平成 25 年 7 月 23 日		15 人
	河川愛護月間行事（木屋川）（豊 田支部）	平成 25 年 6 月 8 日		13 人
	公共施設クリーンアップ作戦 河川の部（美祢支部）	平成 25 年 7 月 25 日		92 人
	公共施設クリーンアップ作戦 道路の部（美祢支部）	平成 25 年 8 月 7 日		76 人
	「河川海岸愛護県民運動」にか かる草刈・清掃作業（長門支部）	平成 25 年 7 月 3 日～12 日		44 人
	「長門市海岸清掃の日」にかか る清掃作業（長門支部）	平成 25 年 7 月 7 日		85 人
	萩市市民一斉清掃（萩支部）	平成 25 年 7 月 14 日		40 人
徳島県	四国遍路みち清掃活動	平成 25 年 9 月 20 日	徳島県内札所（お寺）24 寺の遍路道	業界 581 人
	木場克己氏講習会	平成 25 年 10 月 12 日	山川バンブーパーク	業界 5 人、 一般 150 人、 自治体 5 人
	平成 24 年度 徳島県頭上訓練 南海トラフの巨大地震	平成 25 年 1 月 17 日	県下 8 支部	業界 100 人、 自治体 200 人
香川県	インターンシップ（若年建設従 事者入職促進事業）	平成 25 年 6 月 21 日	会員企業の工事現場等	多度津高校 土木科 26 名、 建築科 32 名、 坂出工業高校 建築科 26 名、 高松工芸高校 建築科 37 名
	道路清掃（建築部会）	平成 25 年 8 月 1 日～8 月 20 日	部会員（52 社）各社の事 務所所在地の左右 500m の間の道路	参加人数 300 人
	献血運動（高松支部）	平成 25 年 6 月 27、28 日	香川県土木建設会館	参加人数 100 人
	道路清掃（高松支部）	平成 25 年 8 月 9 日	国道 193 号線	参加人数 70 人
	道路清掃（中讃支部）	平成 25 年 6 月 11 日、8 月 9 日、11 月 12 日	中讃土木管内の香川県が 管理する道路	参加人数 300 人
	献血運動（中讃支部）	平成 25 年 7 月 25 日	中讃建設業協同組合会館	参加人数 100 人
	献血運動（西讃支部）	平成 25 年 6 月 29 日	香川県建設業協会西讃支 部会館	参加人数 100 人
	道路清掃（西讃支部）	平成 25 年 8 月 9 日	観音寺市内の県道・市道 （約 5 路線）	参加人数 100 人
	海岸清掃（長尾支部）	平成 25 年 6 月 14 日	東かがわ市の 5 海岸、さ ぬき市の 2 海岸	参加人数 70 人
	防犯キャンペーン（長尾支部）	平成 25 年 6 月 28 日、7 月 5 日、7 月 12 日	三木町学園通り駅前、さ ぬき市志度内、東かがわ 市内	参加総数 80 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	熱中症予防対策パトロール（長尾支部）	平成25年7月23日～25日		参加人数9名
	献血運動（長尾支部）	平成25年6月4日、7日、9月9日	引田公民館、白鳥保健センター、大内庁舎、さぬき市役所、三木町福祉センター	参加人数70人
	道路清掃（長尾支部）	平成25年8月9日	主要地方道高松長尾大内線（旧バイパス）三木～大内（約30km）	参加人数70人
	献血運動（小豆支部）	平成25年6月12日、8月27日、10月27日、11月2日		参加人数30人
	道路清掃、危険箇所点検（小豆支部）	平成25年8月9日	小豆支部会員各社の割当パトロール区域	参加人数120人
高知県	防犯パトロール	平成25年（毎月）	高知市中心街	年間約100人、一般15人
	県民一斉清掃活動	平成25年2月5日	高知市	業界6人、一般多数、自治体多数、参加総数多数
	高知県総合防災訓練	平成25年6月2日	奈半利港	業界20人、一般多数、自治体多数、参加総数多数
	「88クリーンウォーク」清掃活動	平成25年8月8日	県下全域	業界480人、一般多数、自治体多数、参加総数多数
	高校生の現場実習	平成25年8月19日～23日	高知市、土佐市近隣	生徒8人
	高校生の現場実習（インターシップ）	平成25年11月25日～26日	宿毛市近隣	生徒11人
	高校生の現場実習（インターシップ）	平成25年11月26日～27日	宿毛市近隣	生徒13人
	高校生の現場見学会	平成25年11月20日	宿毛市近隣	生徒11人
	「88クリーンウォーク」（室戸支部）	平成25年8月8日	各業者事務所の国道、県道、室戸市道	業界25人
	安芸市一斉清掃（安芸支部）	平成25年5月26日	安芸市全域	業界20人、安芸市民
	「土木の日」清掃活動（安芸支部）	平成25年11月18日	安芸地区（野良時計）、中芸地区（安田町焼山）	業界31人
	「土木の日」道路清掃（高吾北支部）	平成25年11月18日	佐川町、越知町、仁淀川町	業界86人、自治体46人、参加総数132人
	四万十川一斉清掃（中村支部）	平成25年4月7日	中村地域、西土佐地域	参加総数多数
	「88クリーンウォーク」（中村支部）	平成25年8月8日	各社事務所及び工事現場周辺（四万十市、黒潮町）	業界24社、参加総数226人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	四万十市街地周辺一斉清掃（中村支部）	平成25年2月3日	四万十市古津賀周辺	業界36人、自治体多数
	四万十市民祭 防犯パトロール（中村支部）	平成25年9月7日	四万十市内中心部	業界28人
	一條大祭 防犯パトロール（中村支部）	平成25年11月22日	四万十市内中心部	業界26人
	「土木の日」道路清掃（高陵支部）	平成25年10月22日	須崎市、中土佐町、津野町、梶原町	業界78人、自治体35人
	防犯パトロール（高幡支部）	平成25年8月17日	窪川地区商店街	業界7人
	「海岸愛護月間」清掃活動（南国支部）	平成25年7月7日	十市前浜海岸	業界3人、その他多数
	「土木の日」道路清掃（南国支部）	平成25年11月18日	香美市、香南市、南国市	業界32人、官庁26人
	古川海岸堤防の清掃活動（南国支部）	平成25年9月27日	香南市古川海岸	業界2名
	防犯パトロール（高知支部）	5月・7月・11月を除く毎月	市内各所	業界112人、一般1人、自治体15人
	「土木の日」道路清掃（高知支部）	平成25年11月16日	市内各所	業界74人
	海岸一斉清掃（高知支部）	平成25年7月7日	高知市	業界4人
	浦戸湾・七河川一斉清掃（高知支部）	平成25年7月7日	高知市	業界88人
	土佐清水市クリーン作戦（土佐清水支部）	平成25年10月11日	土佐清水市一円	業界35人、参加総数295人
	防犯パトロール（宿毛支部）	平成25年7月27日	宿毛市内	業界20人
	宿毛まつり 防犯パトロール（宿毛支部）	平成25年10月13日	宿毛市内	業界21人
	「土木の日」道路清掃（伊野支部）	平成25年11月18日	呉北・本川、伊野、日高、土佐の4地区で県道8路線、国道4路線	自治体41人
	年末防犯パトロール（伊野支部）	平成24年12月20日、21日	地区内繁華街	業界19人
	地域防犯活動（伊野支部）	平成25年4月から毎月第3木曜日	会員会社近隣の小学校前など	業界毎月8社8名、参加総数88人
福岡県	献血活動	平成25年11月18日、27日、28日（常設献血ルームは11月1日～12月28日）	福岡市内・久留米市内	業界249人、一般130人、参加総数379人
	11月16日 勤マルの日の活動（清掃活動）	平成25年11月16日	福岡市中央区城内1 舞鶴公園内	業界192人、一般122人、参加総数314人
佐賀県	幼稚園及び保育園の「砂場クリーン作戦」	平成25年10月26日	県内11カ所	業界88人、一般252人
	芝生の広場造り（建設業協会佐賀）	平成25年12月17日	日新保育園	業界45人、一般21人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	カーブミラー磨き及びメンテナンス（神埼建設業協会）	平成25年4月8日、9月26日	神埼町内、千代田町全域	業界70人
	カーブミラー清掃活動（鳥栖建設業協会）	平成25年5月14日	鳥栖市内	業界13人
	第7回津の里子どもまつり（小城建設業協会）	平成25年2月24日	牛津保険福祉センター「マイル」	業界33人、一般325人
	土木の日記念事業 植樹活動（伊万里建設業協会）	平成25年11月18日	井手口川ダム	業界30人、一般9人、自治体6人
	杵島建設業協会ボランティアの日（杵島建設業協会）	平成25年9月27日	武雄市北方町北方中学校敷地内	業界24人、自治体4人
	献血推進活動（杵島建設業協会）	平成25年10月24日	杵島建設業協会会館	参加総数101人
	地域貢献活動奉仕作業 除草作業・ごみ拾い（藤津建設業協会）	平成25年6月26日	太良町白浜海水浴場	業界24人
	地域貢献活動奉仕作業 園内外の除草作業及び砂場抗菌砂入替え（藤津建設業協会）	平成25年7月30日	岩屋保育園	業界12人
	地域貢献活動奉仕作業 砂場抗菌砂入替え（藤津建設業協会）	平成25年8月20日	久間子守保育園	業界12人
	地域貢献活動奉仕作業 草刈清掃作業（藤津建設業協会）	平成25年8月30日	207号バイパス側道他	業界22人
長崎県	住宅フェア「地球環境にやさしい木材の地産地消」（長崎支部）	平成25年10月26日、27日	おくんち広場	業界22人、一般多数、自治体数十人
	DOVOC フェア「浜町土木パネル・模型展」（長崎支部）	平成25年11月16日	浜町ベルナード観光通り	業界29人、一般多数、自治体数十人
	土木の日イベント「親子ふれあい体験」（佐世保支部）	平成25年11月10日	島瀬公園及び公園前アーケードの一部（佐世保市島瀬町）	業界80人、一般4,500人、自治体10人
	住まい・るフェスタ2013in佐世保（佐世保支部）	平成25年10月13日	島瀬公園（佐世保市島瀬町）	業界16人、一般3,000人、自治体10人
	土木の日「土木とのふれあいin県北2013（北部支部）	平成25年11月16日	「田平公園」運動広場（Bコート）	業界約150人、一般約500人
	献血活動（北部支部）	平成25年5月30日	県北建設会館	業界約60人
	大村市総合防災訓練（大村支部）	平成25年9月8日	竹松駐屯地	業界35人、一般30人、自治体100人
	大村建設業労働災害防止安全大会（大村支部）	平成25年9月25日	大村市コミュニティセンター「大会議室」	業会80人、自治体22人
	大規模災害発生時における支援活動（社会貢献）に基づく通報訓練（対馬支部）	平成25年10月22日	対馬振興局、建設業協会対馬支部及び会員各社	業界26人、自治体5人
	第16回 土木の日in対馬2013（対馬支部）	平成25年11月17日	清水ヶ丘グラウンド・厳原体育館	業界52人、一般900人、自治体30人
	第21回土木の日建設現場バスツアー（五島支部）	平成25年11月17日	五島市内	業界10人、一般60人、自治体5人
	第22回土木の日イベント（五島支部）	平成25年11月10日	南松浦郡新上五島町	業界20人、一般600人、自治体20人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	第21回 GAMADAS' 住まいづくりフェア（島原支部）	平成25年11月10日	ふれあいホールサンプラザ万1町駐車場	業界200人、一般500人、自治体30人
熊本県	清掃、環境保全活動、高校生現場見学会、測量運動会の実施、家屋補修ボランティア、防災訓練	平成25年3月4日～11月14日	熊本県内一円	業界約1,600人、自治体若干名
大分県	平成25年度「第29回献血事業」（大分支部）	平成25年8月21日～23日	平倉建設(株)、(株)利根建設、南大分体育館等7箇所	総数177人
	平成25年度「第9回無事故・無違反コンクーノレ」（大分支部）	平成25年8月1日～平成26年1月31日		参加総数910人
	広域農道「オレンジロード」草刈り・清掃活動（杵築速見支部）	平成25年11月14日	杵築市大内	業界44人
	不法投棄物撤去ボランティア（宇佐支部）	平成25年3月19日	宇佐市安心院町松本地区	業界22人、一般2人、自治体2人
	河川愛護月間における駅館川河川清掃（宇佐支部）	平成25年7月19日	駅館川左岸河川敷 ウサノピア駐車場～上田橋まで約700m	業界65人、自治体約30人
	平成25年度宇佐夏越祭り「宇佐神輿パレード」の参加（宇佐支部）	平成25年8月3日	宇佐神宮及び周辺地区	業界31人
	宇佐産業科学高校生 現場見学会及び会社訪問（宇佐支部）	平成25年12月10日	現場見学：ダイレックス宇佐店新築工事、宇佐市発電所建設工事等3箇所 会社訪問：(株)末宗組	業界20人、一般36人、自治体2人
	災害復旧工事現場の安全パトロール（中津支部）	平成25年6月6日	山国川中摩地内河川災害復旧工事 他5件	業界6人、一般10人
	県北部地区総合防災訓練（中津支部）	平成25年11月10日	中津市本耶馬溪支所	業界6人、一般300人、自治体50人
	ウナギの放流（中津支部）	平成25年5月13日	柿坂の河川敷	業界2人、一般20人
	献血活動（青年部会）（中津支部）	平成25年6月22日	ゆめタウン中津店駐車場	業界13人
	いずみの園フェスタへの出店（青年部会）（中津支部）	平成25年10月19日	「いずみの園」園内	業界6人、一般80人、参加総数400人
	献血活動（日田支部）	平成25年9月19日	日田建設業会館	業界48人
	土地改良施設愛護活動（日田支部）	平成25年7月25日	山田原調整池（日田市大字三和）	業界25人、一般6人、自治体13人
	「道路ふれあい月間」道路清掃活動（日田支部）	平成25年7月25日	国道386号線、国道212号線（日田市内）	業界72人、自治体15人
	土地改良施設愛護月間清掃作業（玖珠支部）	平成25年7月25日	農道玖珠2期地区 玖珠町森	業界7社15人、参加総数44人
	玖珠祇園 第10回記念大祭（玖珠支部）	平成25年7月27日	玖珠郡玖珠町	玖珠郡内の建設業者の従業員が多数参加
	玖珠土木の道路清掃（玖珠支部）	平成25年7月31日	玖珠町内主要道路、高速道インター付近	業界13社29人 協会4人、参加総数60人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	小規模集落応援隊 草刈、秋祭りのステージ設営等(玖珠支部)	平成25年10月27日、11月2日	九重町黒猪鹿、玖珠町古後下河内	業界6社8人、一般35人、自治体4人
	鮎・うなぎ放流事業(臼杵支部)	平成25年4月24日	臼杵川・末広川	業界2人、一般10人、自治体3人
	もくず蟹放流(臼杵支部)	平成25年6月24日	臼杵川・末広川	業界1人、一般2人、自治体2人
	河川清掃活動(臼杵支部)	平成25年7月25日	臼杵川(臼杵石仏)	業界44人、一般10人、自治体40人
	道路清掃活動(臼杵支部)	平成25年8月8日	臼杵市内(臼杵坂ノ市線)	業界31人、自治体65人
	河川環境保護(佐伯支部)	平成25年4月～11月	佐伯市宇目重岡川、中岳・西山川、大原地区	
	第15回U-18ユースサッカー選手権 マリンカップさいき2013(佐伯支部)	平成25年3月9、10日	佐伯市総合運動公園	
	ドキュメンタリー映画「ガレキとラジオ」(佐伯支部)	平成25年2月8日	佐伯文化会館大ホール	
	不法投棄撤去作業(国東支部)	平成25年6月18日	国東町岩戸寺	業界18人、自治体4人
	「秋の交通安全運動」の呼びかけ(国東支部)	平成25年9月24日	安岐町下原の交差点	業界12人、自治体2人
	「国東半島国東市ボードセーリング&スタンドアップパドルボード大会」の準備(海岸清掃)(国東支部)	平成25年10月31日	安岐海岸	業界18人、一般5人、自治体8人
	桂川愛護美化啓発活動参加(高田支部)	平成25年7月24日	桂川ふれあいランド駐車場	業界22人、一般15人、自治体30人
	稲葉川河川清掃、草刈作業(竹田支部)	平成25年①7月11日②11月28日	竹田駅周辺 稲葉川河川敷	①業界20人、一般110人、自治体20人②業界4人、一般15人、自治体4人
	第28回入田名水祭り(竹田支部)	平成25年7月14日	竹田市入田 中島公園周辺	自治体10人、参加総数約3,000人
	精霊流し(竹田支部)	平成25年8月15日	竹田駅前 稲葉川河川敷	
	小規模集落応援隊 集落道草刈作業(竹田支部)	平成25年9月7日	竹田市下坂田 下深迫地区	業界10人、一般5人
	小規模集落応援隊 輪地切り作業(竹田支部)	平成25年9月29日	竹田市宮城 刈小野地区 牧野	業界10人、一般11人、自治体10人
	第30回竹田薪能(竹田支部)	平成25年9月28日	竹田市挾田 三日月岩前 水上舞台	
	「竹楽」に伴う一連の作業協力(竹田支部)	平成25年1月～11月まで計6日	竹田市街地	業界30人
宮崎県	平成25年度奉仕活動	平成25年6月～11月	県内11地域の小学校ほか	業界200人、一般560人、自治体50人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	平成 25 年度土木の日	平成 25 年 11 月 18 日		
鹿児島県	13 土木フェスタ in kagoshima	平成 24 年 11 月 16 日	鹿児島市 JR 鹿児島駅隣接地	参加総数 4,000 人
沖縄県	沖縄協青年部会主催「献血キャンペーン」	平成 25 年 10 月 4 日～5 日	サンエー那覇メインプレイス（ビジョン広場）、琉球ジャスコ北谷店前（北谷町美浜 北谷町営駐車場前）	業界 131 人、一般 25 人
	南部道路クリーン作戦（那覇・南部支部）	平成 25 年 8 月 30 日	南風原町山川から津嘉山地内までの約 1 キロメートル	業界 57 人、参加総数 200 人
	河川愛護月間（那覇・南部支部）	平成 25 年 7 月 19 日	報得川（豊見城市）	業界 250 人、自治体 50 人
	沖縄県総合防災訓練及び緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（南部支部）	平成 25 年 11 月 28 日	与那原町（中城港湾マリン・タウン）、協会本部、会員各社	業界 10 人（訓練）、227 人（情報共有訓練）、参加総数 1,500 人
	浦添市「てだこまつり」（浦添・西原支部）	平成 25 年 7 月 26 日～28 日	浦添市内	業界 80 人
	市内河川清掃（浦添・西原支部）	平成 25 年 10 月 20 日～28 日	浦添市内	業界 72 人、一般 130 人
	まるごと沖縄クリーンビーチ 2013in 中城湾港（中部支部）	平成 25 年 7 月 12 日	中城港湾新港区内	業界 47 人
	河川愛護月間（中部支部）	平成 25 年 7 月 30 日	石川川（うるま市）	業界 48 人
	道路ふれあい月間（中部支部）	平成 25 年 8 月 30 日	県道 85 号線アワセベイストリート	業界 38 人
	第 24 回中部トリムマラソン大会（中部支部）	平成 25 年 11 月 7 日	沖縄県総合運動公園周辺道路（県道 227 号線を公園正面から 1 キロメートル）	業界 50 人
	平成 25 年度 河川・海岸愛護月間（北部支部）	平成 25 年 7 月 30 日	宇茂佐海岸・屋部川	業界 74 人
	平成 25 年度 道路ふれあい月間（北部支部）	平成 25 年 8 月 30 日	国道 449 号の安和コミュニティセンターから山入端区間	業界 42 人、参加総数 50 人
	平成 25 年「都市公園愛護活動」（宮古支部）	平成 25 年 10 月 17 日	上野大獄城址公園（宮古島市）	業界 50 人、自治体 50 人
	平成 25 年度「青少年の深夜徘徊防止」「未成人者飲酒防止」第 63 回社会を明るくする運動（夜間街頭指導）（八重山支部）	平成 25 年 7 月 19 日	石垣市内	業界 16 人、参加総数 357 人
	河川海岸愛護月間（八重山支部）	平成 25 年 9 月 27 日	石垣市内の磯辺	業界 66 人、自治体 48 人、参加総数 175 人
	平成 25 年度都市公園愛護活動・愛護デー（八重山支部）	平成 25 年 10 月 28 日	県営バンナ公園（石垣市）	業界 20 人
	イリオモテヤマネコ交通事故防止キャンペーン（八重山支部）	平成 25 年 11 月 20 日	西表島大原仲間港ターミナル（石垣市）	業界 3 人、一般 15 人、自治体 3 人

※本会が実施したアンケート調査の回答をもとに取りまとめています。

参考 「生活を守り まちをささえる建設業 Vol.8」(1)

生活を守り
まちをささえる
建設業

一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

● 生活を守り まちをささえる建設業

日本は、豊かな自然に恵まれている世界の中でも最も美しい四季を持つ国です。しかしまた、日本列島は、地震・台風・豪雨・豪雪等の常襲地帯でもあり、厳しい自然環境におかれています。このため、これまでも毎年、多くの尊い人命と貴重な財産が失われてきました。

このように、自然災害が多発する我が国において、安全・安心な暮らしを守るためには、防災・減災対策を一層推進するとともに、計画的な社会資本整備を進めることが何よりも必要です。

一般社団法人全国建設業協会は、各都道府県建設業協会とその会員企業とともに、日頃からの防災活動や、災害時の応急復旧活動、地球環境問題への取り組みなど、各地域で生活を守り、まちをささえる様々な活動に取り組んでいます。

これからも、豊かで住みよい国民生活を実現するため、国民にとって真に必要な公共事業を推進し、安全・安心な国土づくりに貢献していきます。



建設業の目標 2

災害から守る

建設業は、災害に強い国土づくりを進めるとともに、災害発生時には迅速な復旧活動を行い、地域の安全・安心を守っています。



東日本大震災での瓦礫撤去作業(宮城県仙台市)



防災訓練(北海道帯広市)

建設業の目標 3

地域経済を支える

建設業は地域の雇用と経済を支えています。建設業で働く人々は、全国に約400万人います。国民の期待に応え地域社会に貢献しています。



地域を結ぶ新幹線



整備された河川(東京都)

建設業の社会貢献活動を推進する協会ネットワーク

一般社団法人 全国建設業協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1
TEL.03-3551-9396 FAX.03-3555-3218

一般社団法人 北海道建設業協会

〒060-0004 札幌市中央区北四条西3-1
TEL.011-261-6184 FAX.011-251-2305

一般社団法人 青森県建設業協会

〒030-0803 青森市安方2-9-13
TEL.017-722-7611 FAX.017-722-7617

一般社団法人 岩手県建設業協会

〒020-0873 盛岡市松尾町17-9
TEL.019-653-6111 FAX.019-653-6113

一般社団法人 宮城県建設業協会

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48
TEL.022-262-2211 FAX.022-263-7059

一般社団法人 秋田県建設業協会

〒010-0951 秋田市山王4-3-10
TEL.018-823-5495 FAX.018-865-2306

一般社団法人 山形県建設業協会

〒990-0024 山形市あさひ町18-25
TEL.023-641-0328 FAX.023-624-7391

一般社団法人 福島県建設業協会

〒960-8061 福島市五月町4-25
TEL.024-521-0244 FAX.024-522-4513

一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 水戸市大町3-1-22
TEL.029-221-5126 FAX.029-225-1158

一般社団法人 栃木県建設業協会

〒321-0933 宇都宮市篠瀬町1958-1
TEL.028-639-2611 FAX.028-639-2985

一般社団法人 群馬県建設業協会

〒371-0846 前橋市元総社町2-5-3
TEL.027-252-1666 FAX.027-252-1993

一般社団法人 埼玉県建設業協会

〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋4-1-7
TEL.048-861-5111 FAX.048-861-5376

一般社団法人 千葉県建設業協会

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL.043-246-7624 FAX.043-246-9855

一般社団法人 東京都建設業協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1
TEL.03-3552-5656 FAX.03-3555-2170

一般社団法人 神奈川県建設業協会

〒231-0011 横浜市中区太田町2-22
TEL.045-201-8451 FAX.045-201-2767

社団法人 山梨県建設業協会

〒400-0031 甲府市丸の内1-13-7
TEL.055-235-4421 FAX.055-233-9572

社団法人 新潟県建設業協会

〒950-0965 新潟市中央区新光町7-5
TEL.025-285-7111 FAX.025-285-7119

一般社団法人 長野県建設業協会

〒380-0824 長野市南石堂町1230
TEL.026-228-7200 FAX.026-224-3061

一般社団法人 岐阜県建設業協会

〒500-8502 岐阜市藪田東1-2-2
TEL.058-273-3344 FAX.058-273-3138

一般社団法人 静岡県建設業協会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9
TEL.054-255-0234 FAX.054-255-5590

一般社団法人 愛知県建設業協会

〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21
TEL.052-242-4191 FAX.052-242-4194

一般社団法人 三重県建設業協会

〒514-0003 津市桜橋2-177-2
TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143

一般社団法人 富山県建設業協会

〒930-0094 富山市安住町3-14
TEL.076-432-5576 FAX.076-432-5579

一般社団法人 石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
TEL.076-242-1161 FAX.076-241-9258

一般社団法人 福井県建設業協会

〒910-0854 福井市御幸3-10-15
TEL.0776-24-1184 FAX.0776-27-3003

一般社団法人 滋賀県建設業協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-18
TEL.077-522-3232 FAX.077-522-7743

一般社団法人 京都府建設業協会

〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入横町645
TEL.075-231-4161 FAX.075-241-3128

一般社団法人 大阪建設業協会

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30
TEL.06-6941-4821 FAX.06-6941-8767

一般社団法人 兵庫県建設業協会

〒651-2277 神戸市西区美賀多合1-1-2
TEL.078-997-2300 FAX.078-997-2307

一般社団法人 奈良県建設業協会

〒630-8241 奈良市高天町5-1
TEL.0742-22-3338 FAX.0742-23-9121

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通丁北1-1-8
TEL.073-436-5611 FAX.073-436-2567

一般社団法人 鳥取県建設業協会

〒680-0022 鳥取市西町2-310
TEL.0857-24-2281 FAX.0857-24-2283

一般社団法人 島根県建設業協会

〒690-0048 松江市西條島1-3-17-101
TEL.0852-21-9004 FAX.0852-31-2166

一般社団法人 岡山県建設業協会

〒700-0827 岡山市北区平和町5-10
TEL.086-225-4131 FAX.086-225-5388

一般社団法人 広島県建設業協会

〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-23
TEL.082-511-1430 FAX.082-511-1431

一般社団法人 山口県建設業協会

〒753-0074 山口市中央4-5-16
TEL.083-922-0857 FAX.083-923-7101

一般社団法人 香川県建設業協会

〒760-0026 高松市扇屋町6-4
TEL.087-851-7919 FAX.087-821-4079

一般社団法人 徳島県建設業協会

〒770-0931 徳島市富田浜2-10
TEL.088-622-3113 FAX.088-652-7609

一般社団法人 愛媛県建設業協会

〒790-0002 松山市二番町4-4-4
TEL.089-943-5324 FAX.089-933-0168

一般社団法人 高知県建設業協会

〒780-0870 高知市本町4-2-15
TEL.088-822-6181 FAX.088-823-5662

社団法人 福岡県建設業協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18
TEL.092-477-6731 FAX.092-477-6740

一般社団法人 佐賀県建設業協会

〒840-0041 佐賀市城内2-2-37
TEL.0952-23-3117 FAX.0952-24-9751

一般社団法人 長崎県建設業協会

〒850-0874 長崎市魚の町3-33
TEL.095-826-2285 FAX.095-826-2289

一般社団法人 熊本県建設業協会

〒862-0976 熊本市中央区九品寺4-6-4
TEL.096-366-5111 FAX.096-363-1192

一般社団法人 大分県建設業協会

〒870-0046 大分市荷揚町4-28
TEL.097-536-4800 FAX.097-534-5828

一般社団法人 宮崎県建設業協会

〒880-0805 宮崎市橋通東2-9-19
TEL.0985-22-7171 FAX.0985-23-6798

一般社団法人 鹿児島県建設業協会

〒890-8512 鹿児島市鴨池新町6-10
TEL.099-257-9211 FAX.099-257-9214

一般社団法人 沖縄県建設業協会

〒901-2131 浦添市牧港5-6-8
TEL.098-876-5211 FAX.098-870-4565

<http://www.zenken-net.or.jp>



2013年7月制作
無断使用・転載を禁止します。

平成25年度
建設業社会貢献活動事例集
—生活を守り まちをささえる建設業—

平成26年3月

発行 一般社団法人 **全国建設業協会**
東京都中央区八丁堀2丁目5番地1号
☎ 03(3551)9396(代表)
<http://www.zenken-net.or.jp/>

